

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	654	百万円	維持管理費 B(※2)	60	百万円
	使用年数 A(※1)	42.5	年	小計	714	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	299	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	64	百万円	建替え経費	1,943	百万円
	解体費	133	百万円	小計	2,453	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	299	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,010	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,346	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

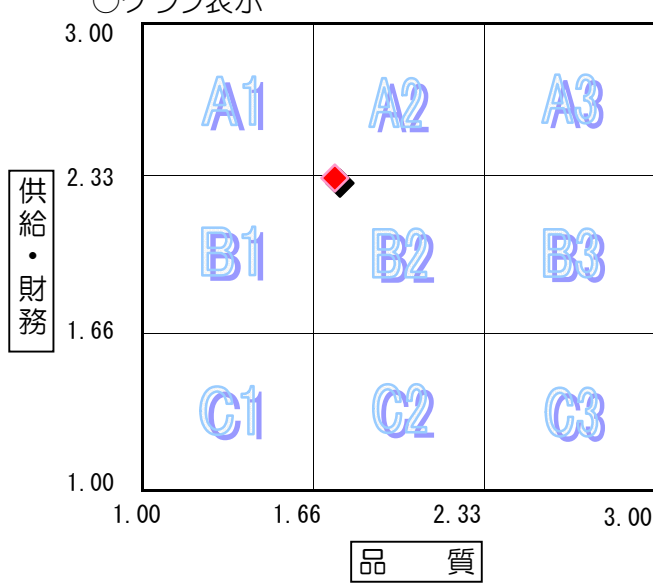
基本情報	施設番号	807045012001	施設名称	焼津水産高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	焼津水産高校		
	用途	教育施設		設置年	1975	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	27,214.06 m ²	延床面積	13,326.78 m ²		
	土地台帳価格	1,622,930 千円	建物台帳価格	294,034 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:焼津駅から バス4分 徒歩4分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.80点 供給・財務 2.33点

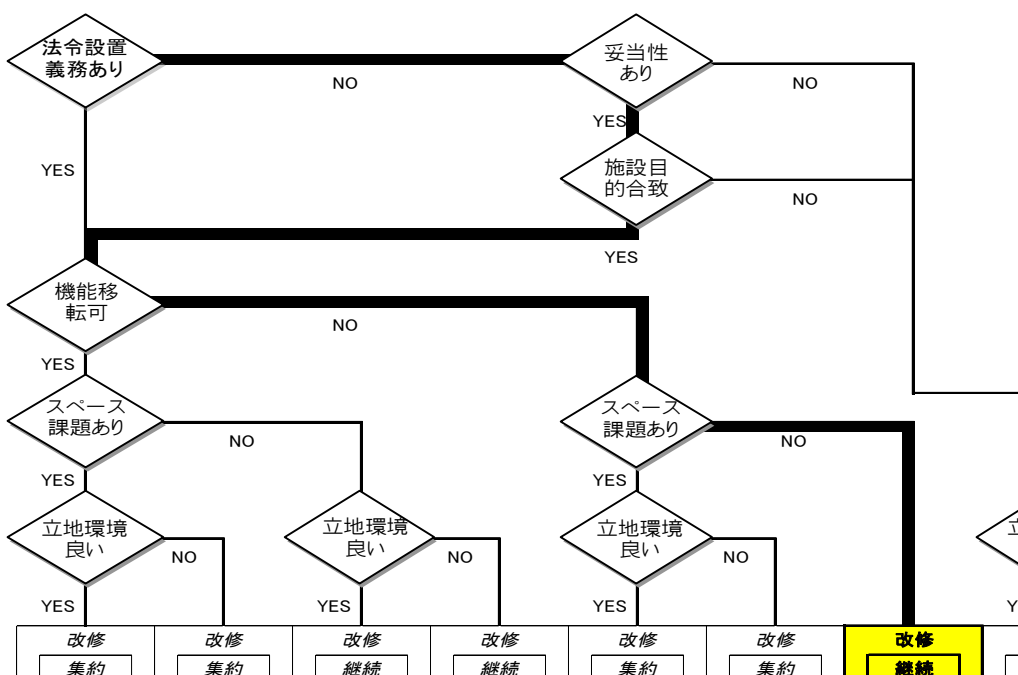
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.1年	1.20点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.6年 2.23点
		外壁	2003.3年 2.27点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1998.7年 1.56点
		受変電設備	2000.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.33GJ (56.63)	3.00点
供給	面積/人数	24.01m ² (51.66)	3.00点
供給	生徒充足率	99.11%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	463,652円 (49.90)	2.00点
財務	コスト/面積	2,714円 (43.85)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	940	百万円	維持管理費 B(※2)	183	百万円
	使用年数 A(※1)	43.1	年	小計	1,123	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	429	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
	大規模改修費	1,480	百万円	建替え経費	1,057	百万円
	解体費	72	百万円	小計	3,081	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	429	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,883	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,800	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の水産高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は、基礎のひび割れ、外壁のクラック、鉄部の発錆が多数あり、内部においても雨漏り跡が見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH30度に策定予定)

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

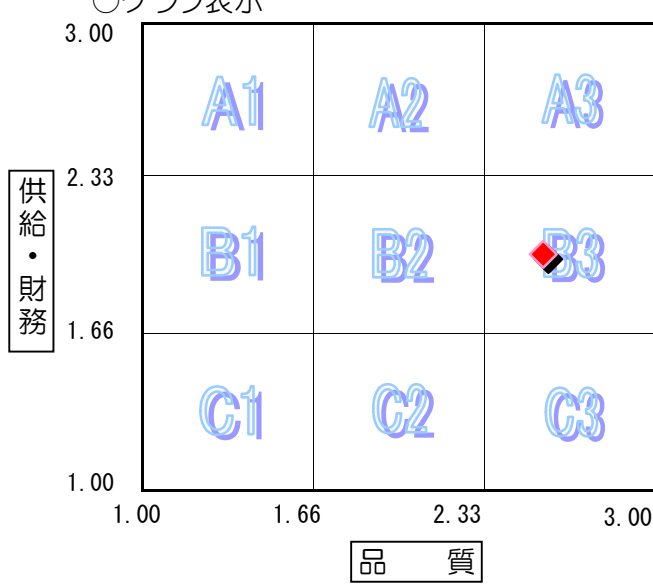
基本情報	施設番号	807045012003	施設名称	焼津水産高等学校(艇庫)	外部  内部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	焼津水産高校	
	用途	教育施設	設置年	1996	
	施設目的	マリン技術実習施設			
	敷地面積	568.40 m ²	延床面積	382.93 m ²	
	土地台帳価格	0 千円	建物台帳価格	43,396 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:焼津駅から バス6分 徒歩16分			

◆ 第1段階 B3 品質 2.67点 供給・財務 2.00点

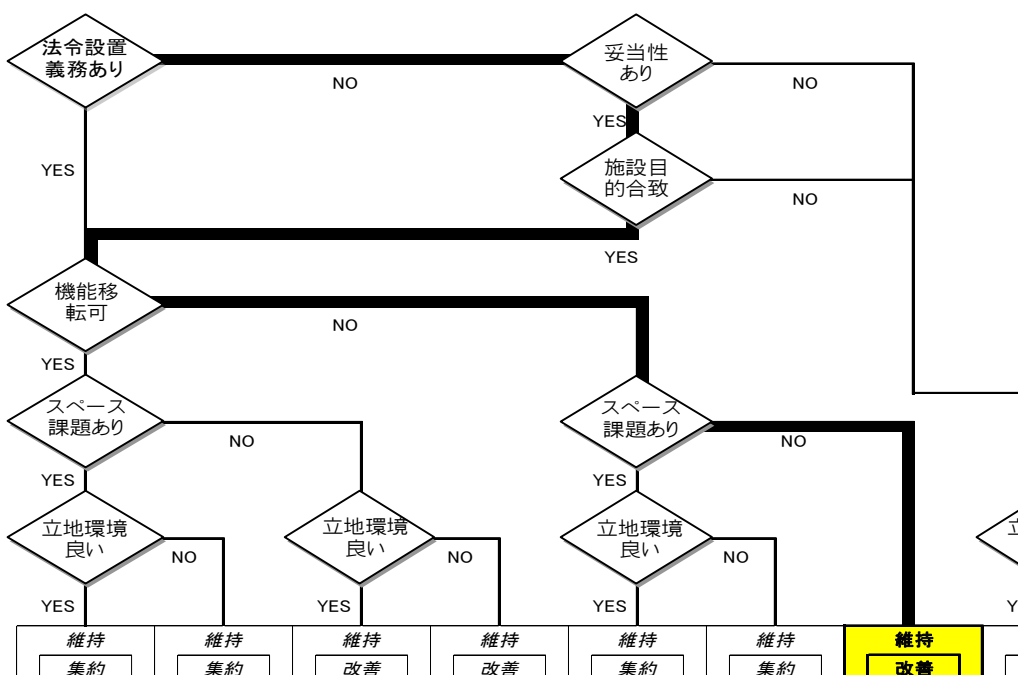
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	20.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.0年 2.00点
		外壁	1996.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	- -
		受変電設備	1996.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.13GJ (62.45)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	1,113円 (41.55)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	102	百万円	維持管理費 B(※2)	1	百万円
	使用年数 A(※1)	20.0	年	小計	103	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	12	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	13	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	12	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	83	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	138	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の水産高校である。
これまでの保全の状況	概ね良好である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

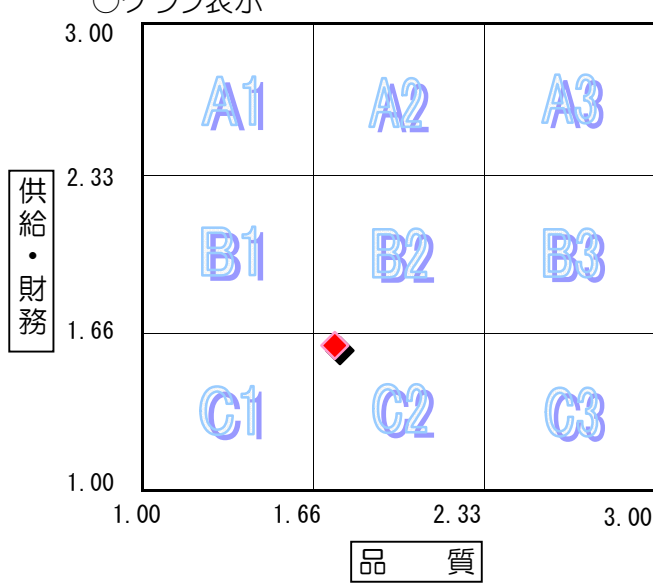
基本情報	施設番号	807045012004	施設名称	焼津水産高等学校臨海実習場	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	焼津水産高校	
	用途	教育施設	設置年	1987	
	施設目的	臨海実習場			内部 
	敷地面積	9,371.80 m ²	延床面積	2,637.03 m ²	
	土地台帳価格	352,902 千円	建物台帳価格	42,398 千円	
	用途地域	準工業地域	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:焼津駅から バス6分 徒歩16分			

◆ 第1段階 C2 品質 1.80点 供給・財務 1.60点

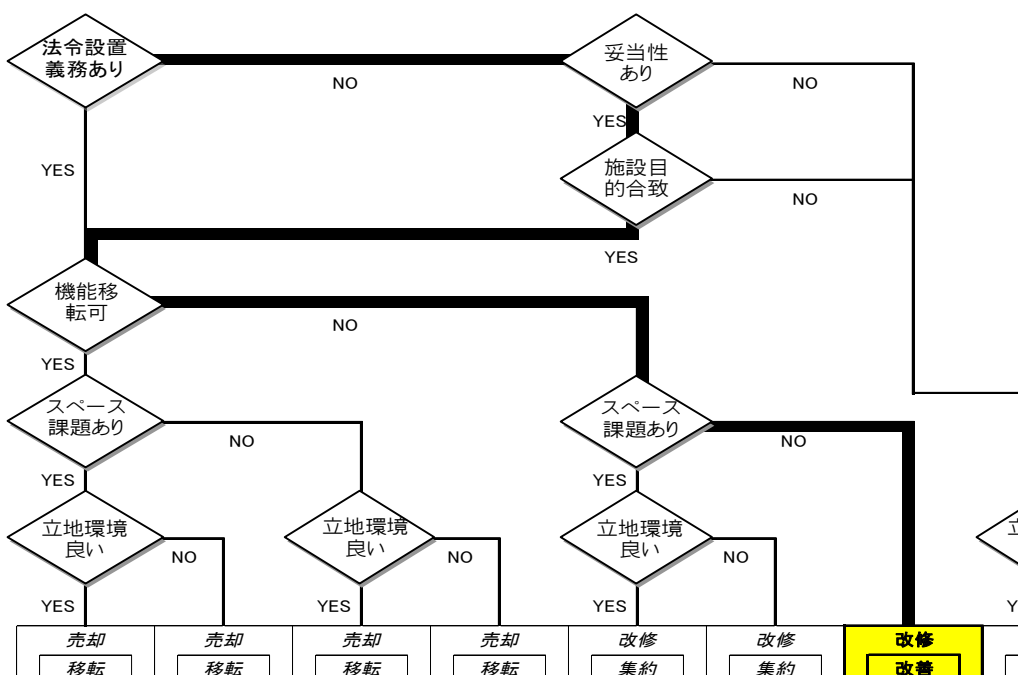
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	29.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.8年 2.13点
		外壁	1997.8年 2.13点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1987.0年 0.20点
		受変電設備	1991.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	4.43GJ	-(62.19) 1.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	4,145,112円	(117.05) 1.00点
財務	コスト/面積	9,431円	(53.47) 2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	251 百万円	維持管理費 B(※2)	48 百万円
	使用年数 A(※1)	29.0 年	小計	299 百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	85 百万円	維持管理費 (※3)	17 百万円
	大規模改修費	0 百万円	建替え経費	0 百万円
	解体費	0 百万円	小計	102 百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	85 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	571 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	950 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の水産高校である。
これまでの保全の状況	概ね良好である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807046012001	施設名称	藤枝東高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	藤枝東高校			
	用途	教育施設		設置年	1966		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	47,855.39 m ²		延床面積	10,843.84 m ²		内部
	土地台帳価格	2,277,039 千円		建物台帳価格	69,680 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅: 藤枝駅から バス10分 徒歩3分					

◆ 第1段階 **B1** 品質 1.65点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	48.7年	1.06点
品質	建築劣化度	屋上防水	2007.7年 2.89点
		外壁	2000.4年 2.03点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2004.0年 1.35点
		受変電設備	1993.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.77)	3.00点
供給	面積/人数	12.62m ² (44.03)	2.00点
供給	生徒充足率	102.26%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	352,639円 (47.88)	2.00点
財務	コスト/面積	2,602円 (43.69)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	292	百万円	維持管理費 B(※2)	95	百万円
	使用年数 A(※1)	48.7	年	小計	387	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	349	百万円	維持管理費 (※3)	19	百万円
	大規模改修費	476	百万円	建替え経費	2,347	百万円
	解体費	161	百万円	小計	3,352	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全 パターン	349	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修 パターン	2,346	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替え パターン	3,906	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等の外装は概ね良好な保全状態であるが、内装は、壁のひび割れ等が多数見受けられる。
その他	平成28～29年度特別教室棟大規模改修予定

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

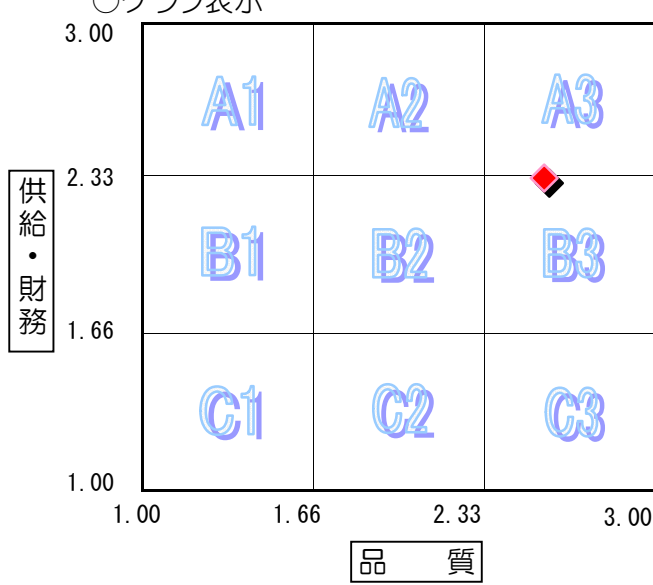
基本情報	施設番号	807047012003	施設名称	藤枝西高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	藤枝西高校			
	用途	教育施設		設置年	2000		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	32,632.47 m ²		延床面積	11,426.01 m ²		内部
	土地台帳価格	1,678,474 千円		建物台帳価格	1,452,486 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:西焼津駅から バス6分 徒歩8分					

◆第1段階 **A3** 品質 2.67点 供給・財務 2.33点

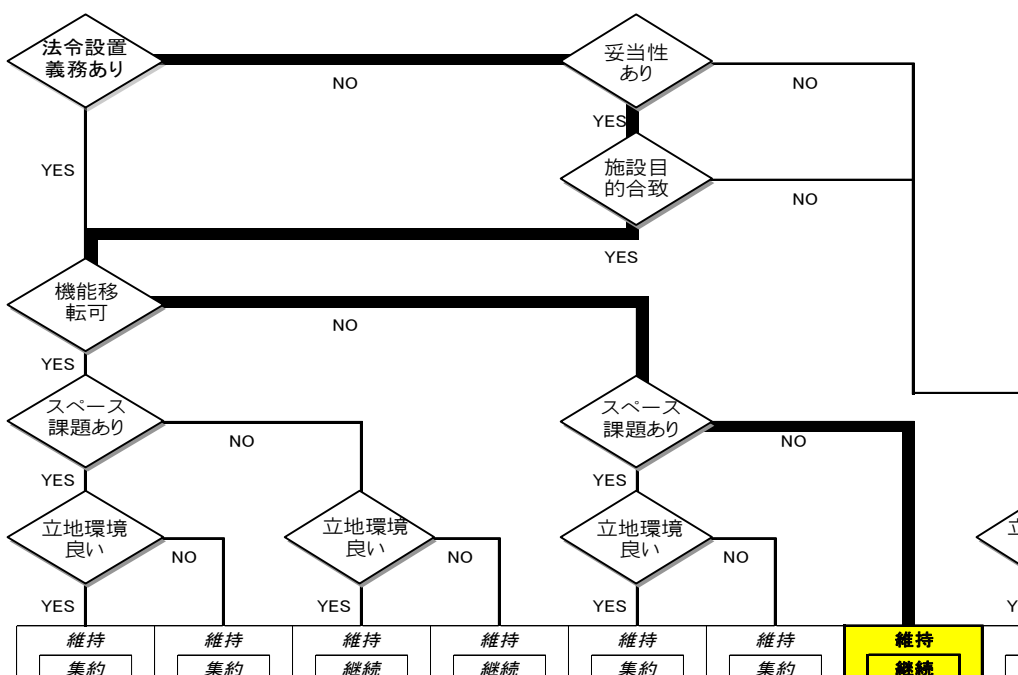
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	16.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.0年 2.00点
		外壁	2011.1年 2.74点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2000.0年 1.95点
		受変電設備	2000.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.80)	3.00点
供給	面積/人数	18.76m ² (48.14)	3.00点
供給	生徒充足率	101.50%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	214,983円 (45.37)	2.00点
財務	コスト/面積	1,091円 (41.52)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 維持** **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,963	百万円	維持管理費 B(※2)	35	百万円
	使用年数 A(※1)	16.0	年	小計	1,998	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	368	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	389	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	368	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,472	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,115	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

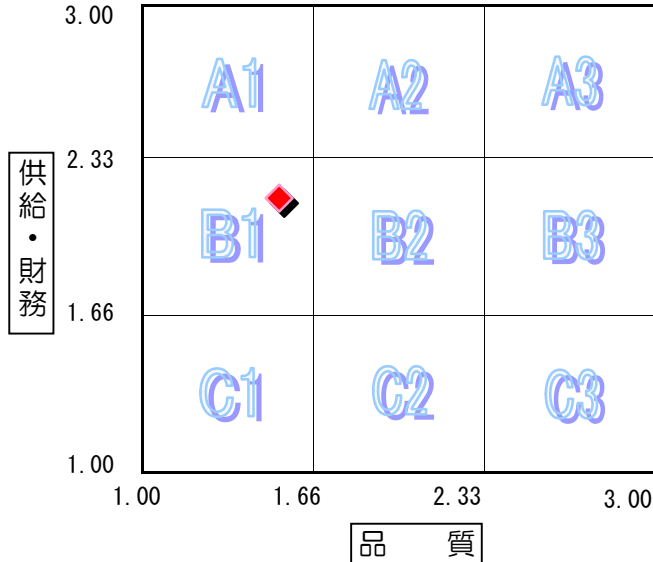
基本情報	施設番号	807048012001	施設名称	藤枝北高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	藤枝北高校		
	用途	教育施設		設置年	1969	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	58,808.19 m ²		延床面積	14,714.32 m ²	
	土地台帳価格	3,298,495 千円		建物台帳価格	263,497 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 藤枝駅から バス15分 タクシー10分				

◆ 第1段階 **B1** 品質 1.56点 供給・財務 2.17点

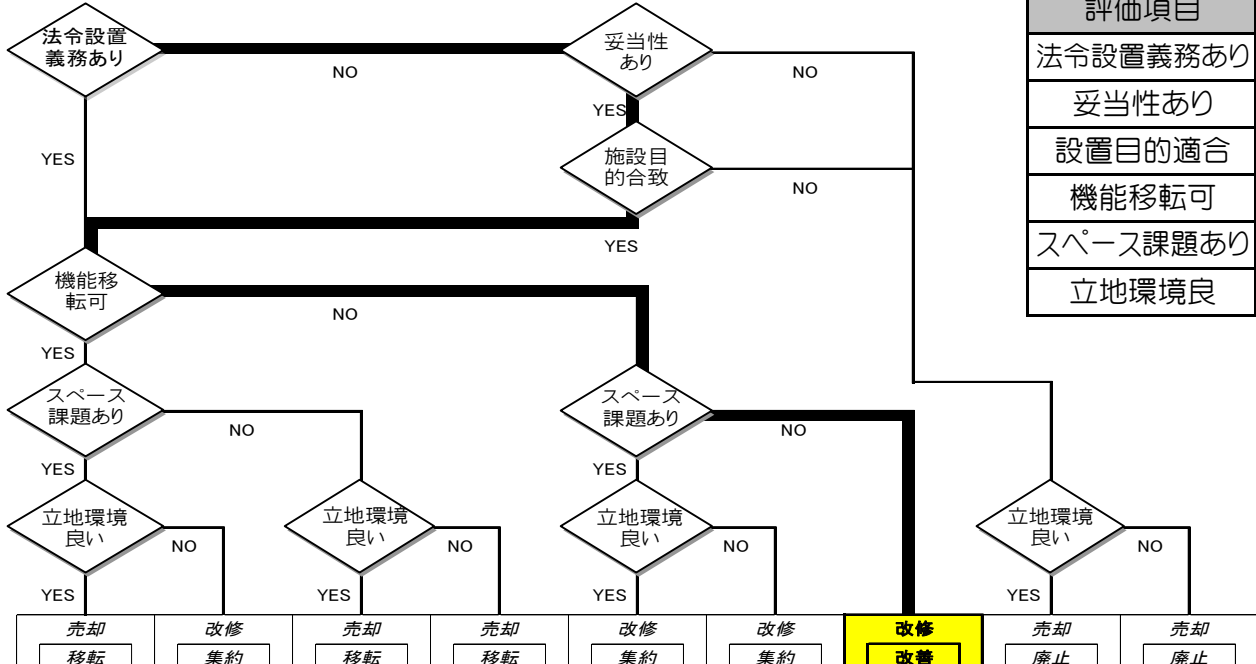
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.4年	1.20点
品質	建築劣化度	屋上防水	1982.4年 1.14点
		外壁	2006.4年 2.44点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1997.5年 1.11点
		受変電設備	1972.4年 1.04点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.25GJ (59.11)	3.00点
供給	面積/人数	24.86m ² (52.23)	3.00点
供給	生徒充足率	98.67%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	210,447円 (45.28)	2.00点
財務	コスト/面積	1,144円 (41.60)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	680	百万円	維持管理費 B(※2)	68	百万円
	使用年数 A(※1)	44.4	年	小計	748	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	473	百万円	維持管理費 (※3)	15	百万円
	大規模改修費	165	百万円	建替え経費	3,322	百万円
	解体費	227	百万円	小計	4,203	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	473	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,184	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,300	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の総合高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

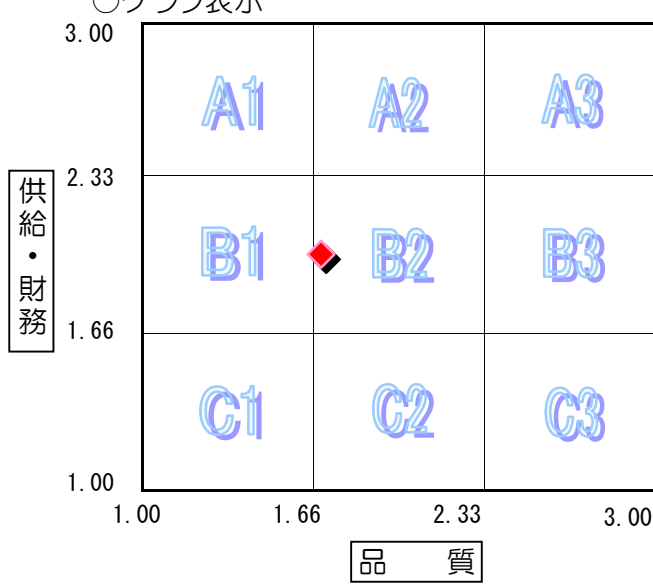
基本情報	施設番号	807049012001	施設名称	島田高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	島田高校			
	用途	教育施設		設置年	1971		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	34,347.49 m ²		延床面積	8,949.49 m ²		内部
	土地台帳価格	1,435,619 千円		建物台帳価格	227,961 千円		
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 島田駅から バス15分					

◆ 第1段階 B2 品質 1.74点 供給・財務 2.00点

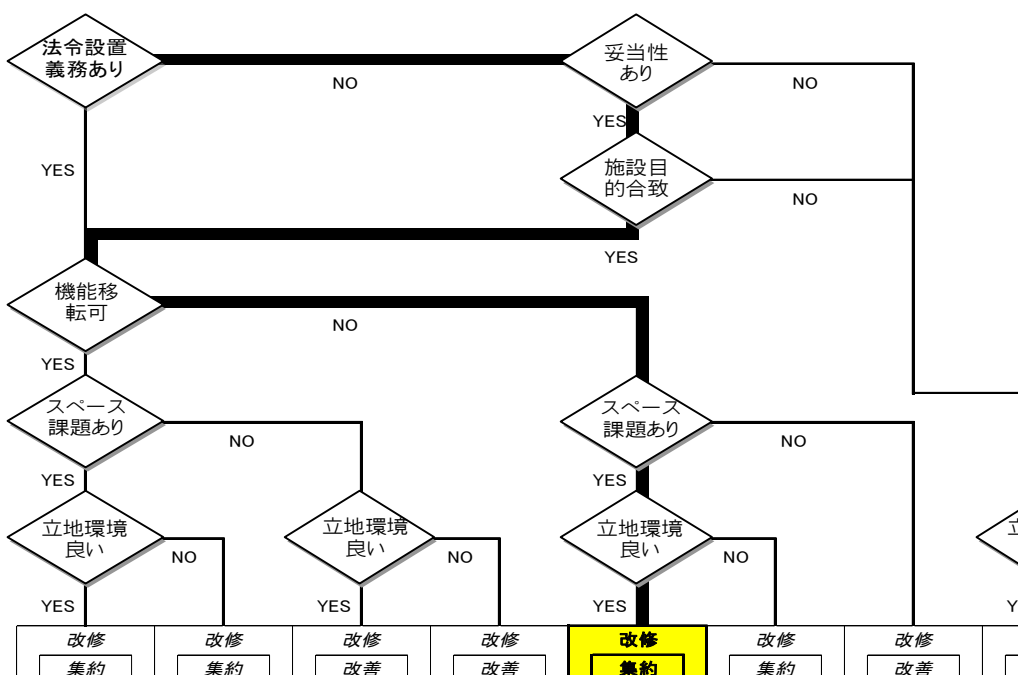
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	41.2年	1.35点
品質	建築劣化度	屋上防水 1999.7年	1.67点
		外壁 2011.7年	2.90点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1974.8年	1.13点
		受変電設備 1974.8年	1.13点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.66)	3.00点
供給	面積/人数	12.66m ² (44.05)	2.00点
供給	生徒充足率	98.19%	3.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	352,019円 (47.86)	2.00点
財務	コスト/面積	2,360円 (43.34)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	398	百万円	維持管理費 B(※2)	54	百万円
	使用年数 A(※1)	41.2	年	小計	452	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	288	百万円	維持管理費 (※3)	13	百万円
	大規模改修費	350	百万円	建替え経費	1,981	百万円
	解体費	136	百万円	小計	2,767	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	288	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,936	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,223	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年6クラスの中規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	校舎等建物については、外壁・内装に亀裂が多数見られ、駐輪場は、鉄部に発錆が著しい状態である。
その他	島田地域の中核を担う高校であり、現時点では集約の予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

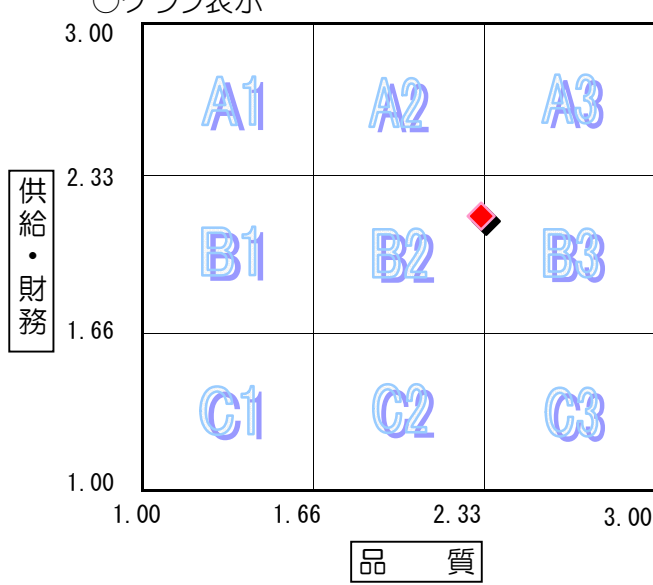
基本情報	施設番号	807050012001	施設名称	島田工業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	島田工業高校		
	用途	教育施設		設置年	1999	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	49,644.11 m ²		延床面積	16,199.80 m ²	
	土地台帳価格	2,486,390 千円		建物台帳価格	1,539,942 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:六合から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.41点 供給・財務 2.17点

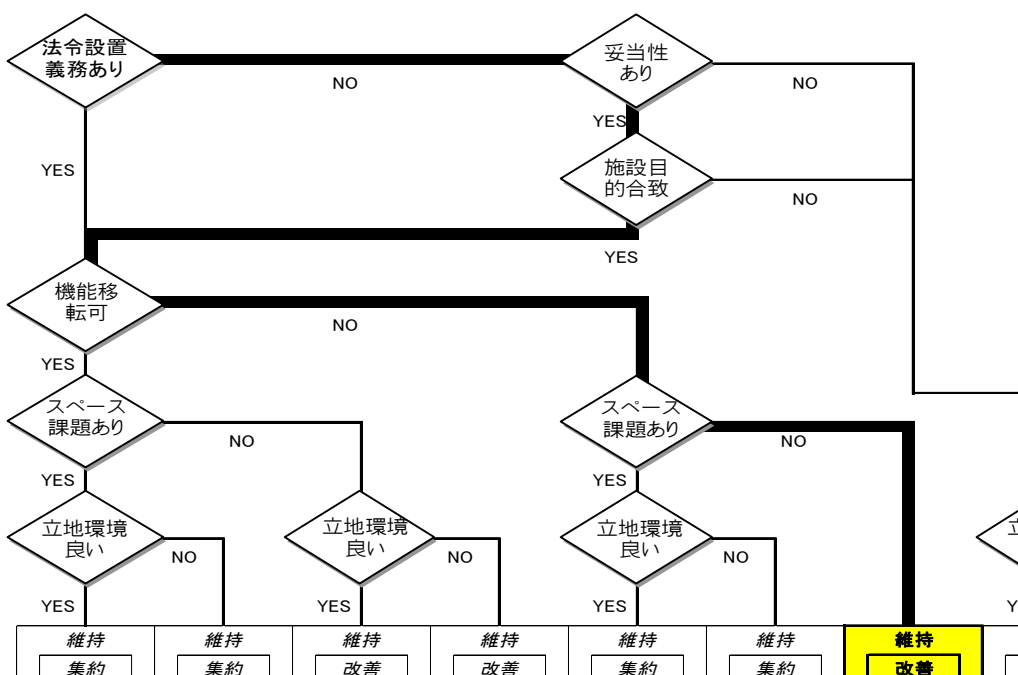
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	22.4年	2.63点
品質	建築劣化度	屋上防水 1997.7年	1.86点
		外壁 1998.5年	1.89点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2005.3年	2.00点
		受変電設備 1999.0年	2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.64)	3.00点
供給	面積/人数	23.01m ² (50.99)	3.00点
供給	生徒充足率	97.78%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	338,502円 (47.62)	2.00点
財務	コスト/面積	1,734円 (42.44)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,313	百万円	維持管理費 B(※2)	114	百万円
	使用年数 A(※1)	22.4	年	小計	2,427	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	521	百万円	維持管理費 (※3)	51	百万円
	大規模改修費	104	百万円	建替え経費	579	百万円
	解体費	40	百万円	小計	1,295	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	521	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,505	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,835	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の工業高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な保全状態であるが、駐輪場等の鉄部において発錆が著しい状況である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807051012001	施設名称	島田商業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	島田商業高校		
	用途	教育施設		設置年	1971	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	37,922.43 m ²		延床面積	11,340.54 m ²	
	土地台帳価格	2,535,169 千円		建物台帳価格	228,200 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 島田駅から 徒歩20分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.86点 供給・財務 1.83点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	45.5年	1.16点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.7年 2.08点
		外壁	2003.4年 2.21点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1983.2年 1.57点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.32GJ (57.18)	3.00点
供給	面積/人数	18.03m ² (47.65)	3.00点
供給	生徒充足率	82.76%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	387,439円 (48.51)	2.00点
財務	コスト/面積	2,391円 (43.39)	3.00点

○グラフ表示

品質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	380	百万円	維持管理費 B(※2)	117	百万円
	使用年数 A(※1)	45.5	年	小計	497	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	365	百万円	維持管理費 (※3)	26	百万円
	大規模改修費	338	百万円	建替え経費	2,689	百万円
	解体費	184	百万円	小計	3,601	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	365	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,454	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,084	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年5クラスの小規模の商業高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	擁壁について、多数の亀裂がある。校舎等の建物においては、内外装ともに多数の亀裂が見受けられ、鉄部においては、発錆が著しい状況である。
その他	平成28～29年度普通教室棟大規模改修予定

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。
----	---

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807052012001	施設名称	金谷高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	金谷高校		
	用途	教育施設		設置年	1974	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	29,408.52 m ²		延床面積	8,639.72 m ²	
	土地台帳価格	1,013,586 千円		建物台帳価格	90,059 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:金谷駅から 徒歩15分				

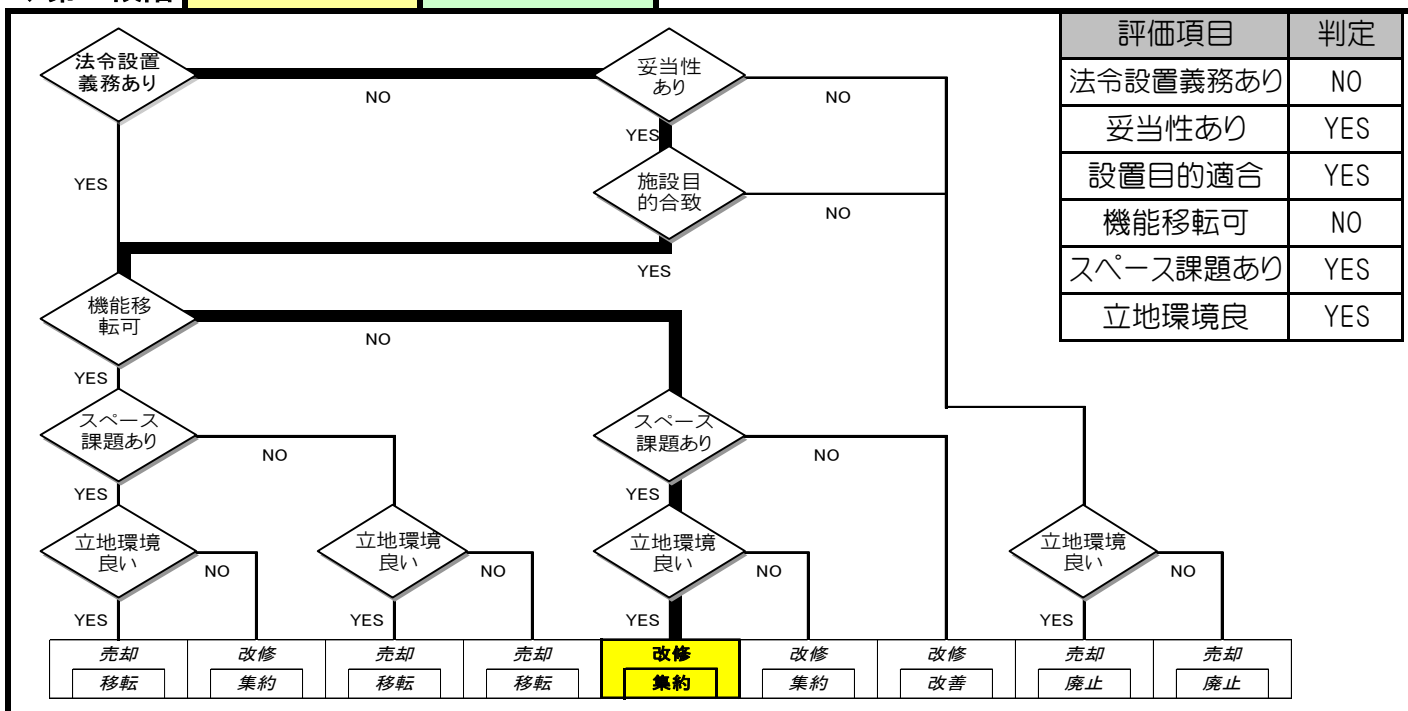
◆第1段階 **B1** 品質 1.61点 供給・財務 1.83点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.6年	1.07点
品質	建築劣化度	屋上防水 1996.7年	2.14点
		外壁 2008.7年	2.59点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1971.4年	1.00点
		受変電設備 1971.4年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.20GJ (60.51)	3.00点
供給	面積/人数	23.74m ² (51.48)	3.00点
供給	生徒充足率	86.67%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.8倍	1.00点
財務	コスト/人	599,076円 (52.37)	2.00点
財務	コスト/面積	3,328円 (44.73)	3.00点

○グラフ表示

◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 集約**



◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	363	百万円	維持管理費 B(※2)	56	百万円
	使用年数 A(※1)	44.6	年	小計	419	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	278	百万円	維持管理費 (※3)	13	百万円
	大規模改修費	697	百万円	建替え経費	1,296	百万円
	解体費	89	百万円	小計	2,372	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	278	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,869	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,112	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年4クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	島田地域の中核を担う高校であり、現時点では集約の予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

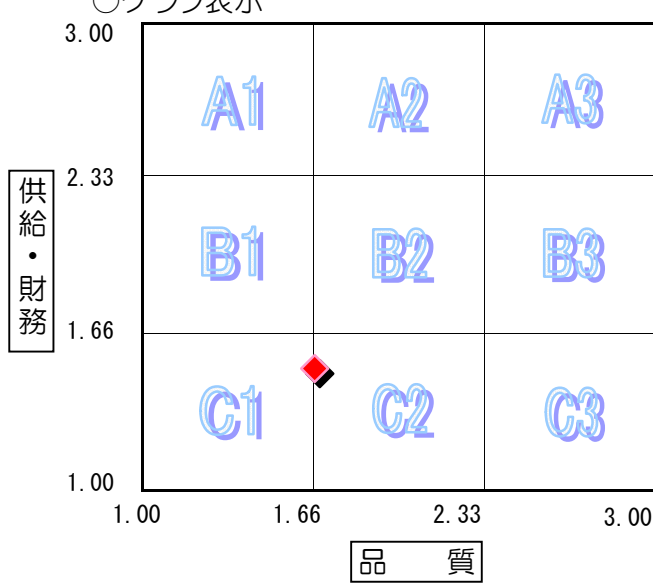
基本情報	施設番号	807053012001	施設名称	川根高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	川根高校		
	用途	教育施設		設置年	1974	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	36,574.12 m ²		延床面積	8,831.47 m ²	
	土地台帳価格	496,359 千円		建物台帳価格	223,523 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:駿河徳山駅から 徒歩5分				

◆ 第1段階 C2 品質 1.71点 供給・財務 1.50点

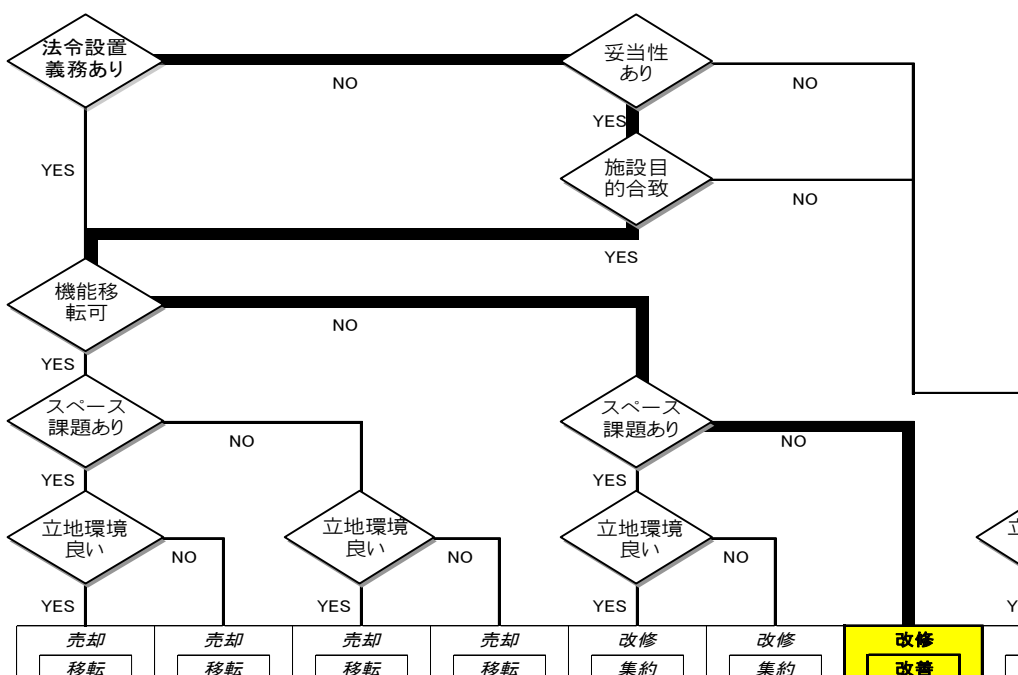
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.2年	1.11点
品質	建築劣化度	屋上防水	1997.1年 2.02点
		外壁	2006.5年 2.58点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1997.3年 1.14点
		受変電設備	1997.6年 1.89点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.23GJ (59.68)	3.00点
供給	面積/人数	62.63m ² (77.57)	1.00点
供給	生徒充足率	58.75%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.6倍	1.00点
財務	コスト/人	607,965円 (52.53)	2.00点
財務	コスト/面積	2,478円 (43.51)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	540	百万円	維持管理費 B(※2)	80	百万円
	使用年数 A(※1)	43.2	年	小計	620	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	284	百万円	維持管理費 (※3)	19	百万円
	大規模改修費	460	百万円	建替え経費	1,650	百万円
	解体費	113	百万円	小計	2,525	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	284	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,911	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,181	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年2クラスの小規模の普通高校である。
これまでの保全の状況	建物の外装については、概ね良好な保全状態であるが、内装については、壁・床等に亀裂が多数見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

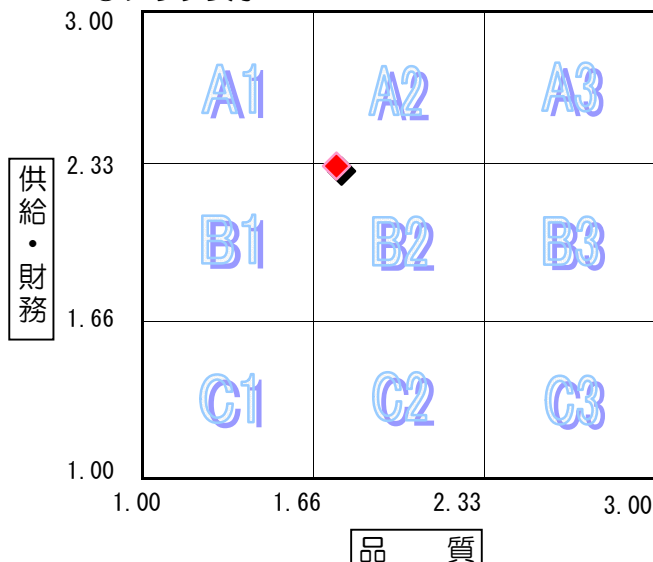
基本情報	施設番号	807055012001	施設名称	榛原高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	榛原高校		
	用途	教育施設		設置年	1969	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	32,086.97 m ²		延床面積	11,883.22 m ²	
	土地台帳価格	1,129,691 千円		建物台帳価格	70,247 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 島田駅から バス52分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.80点 供給・財務 2.33点

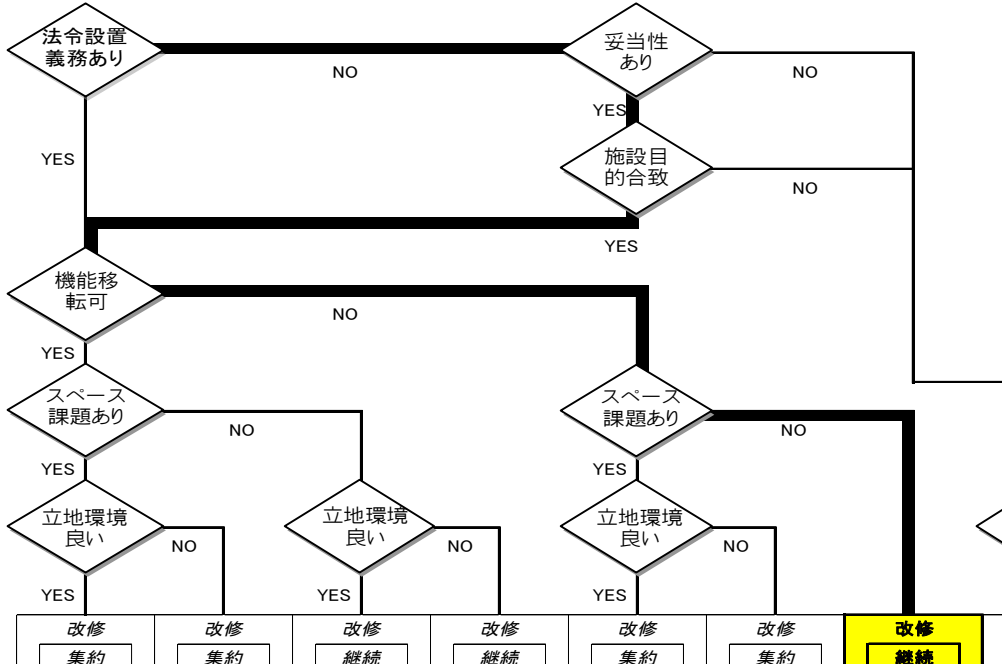
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	47.3年	1.22点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.5年 2.19点
		外壁	2011.5年 2.78点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1997.3年 1.07点
		受変電設備	2005.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (60.09)	3.00点
供給	面積/人数	16.35m ² (46.52)	3.00点
供給	生徒充足率	100.97%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	572,763円 (51.89)	2.00点
	コスト/面積	3,519円 (45.00)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	257	百万円	維持管理費 B(※2)	134	百万円
	使用年数 A(※1)	47.3	年	小計	391	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	382	百万円	維持管理費 (※3)	28	百万円
	大規模改修費	485	百万円	建替え経費	2,840	百万円
	解体費	194	百万円	小計	3,930	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	382	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,571	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,280	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校(理数科)である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、速やかに建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

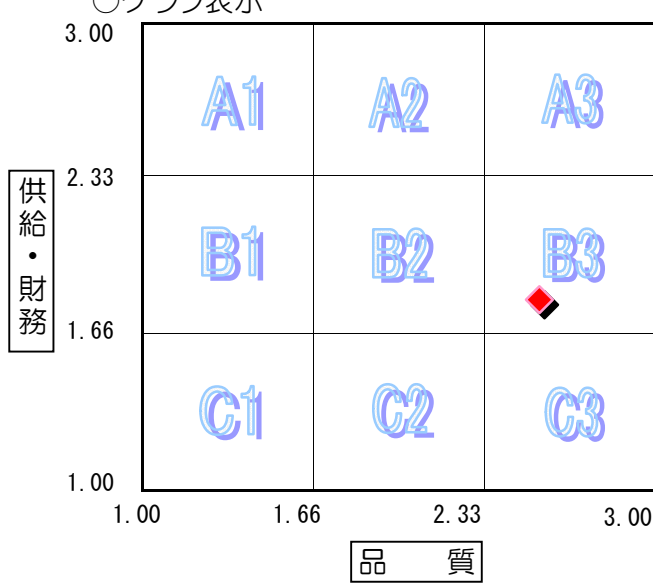
基本情報	施設番号	807055012003	施設名称	榛原高等学校学習館		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	榛原高校		
	用途	教育施設		設置年	1999	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	679.24 m ²	延床面積	724.00 m ²		
	土地台帳価格	26,005 千円	建物台帳価格	105,945 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 島田駅から バス52分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.65点 供給・財務 1.80点

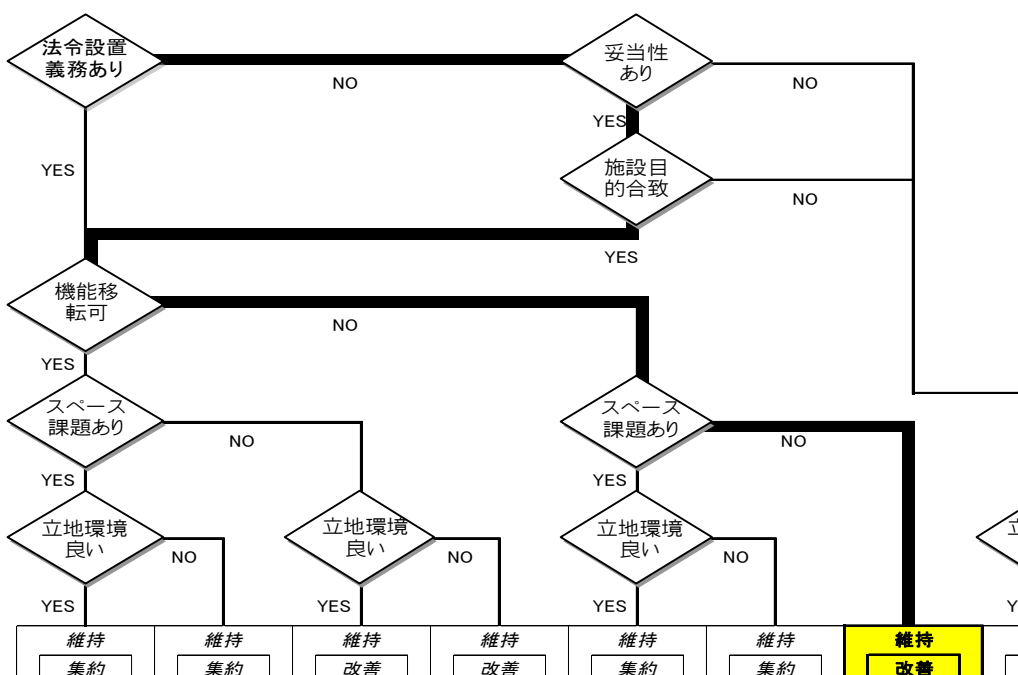
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	17.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1999.0年 2.00点
		外壁	2014.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.0年 2.00点
		受変電設備	1999.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.62GJ (48.28)	2.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	1,031,775円 (60.26)	1.00点
財務	コスト/面積	2,850円 (44.04)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	142	百万円	維持管理費 B(※2)	14	百万円
	使用年数 A(※1)	17.0	年	小計	156	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	23	百万円	維持管理費 (※3)	8	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	32	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	23	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	157	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	261	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校(理数科)である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

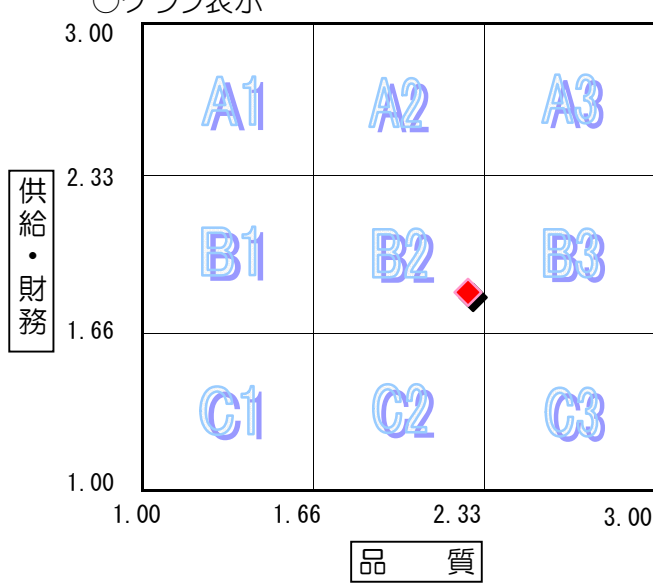
基本情報	施設番号	807056012001	施設名称	相良高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	相良高校		
	用途	教育施設		設置年	1997	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	36,171.00 m ²		延床面積	13,725.44 m ²	
	土地台帳価格	1,305,308 千円		建物台帳価格	1,276,586 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:金谷駅から バス50分				

◆第1段階 B3 品質 2.35点 供給・財務 1.83点

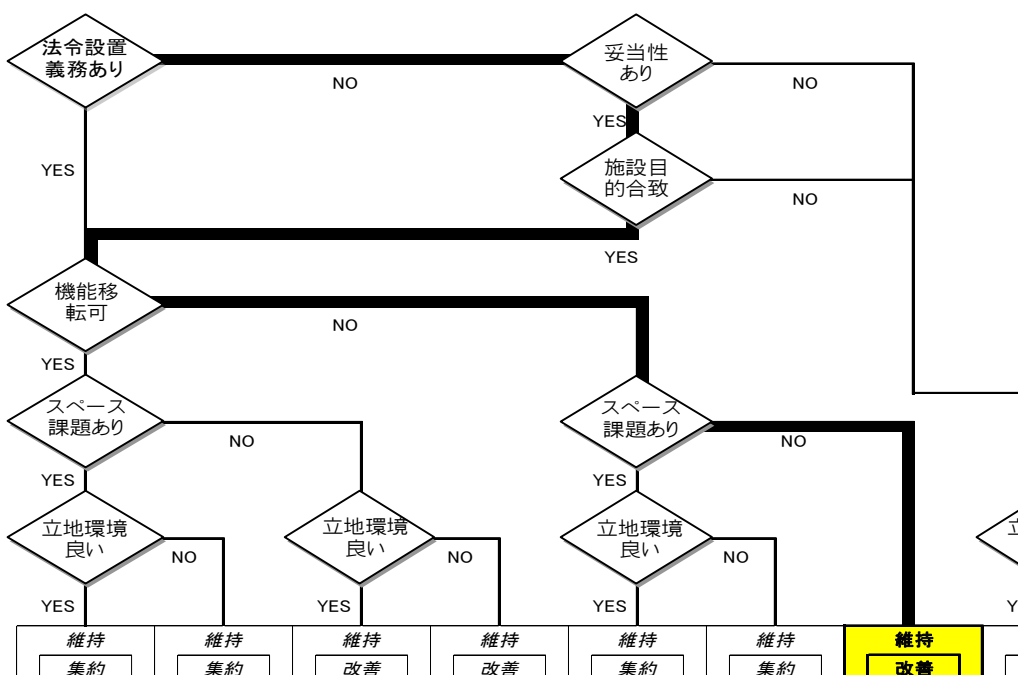
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	28.1年	2.41点
品質	建築劣化度	屋上防水 1991.2年	1.80点
		外壁 2012.3年	2.91点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1997.0年	1.60点
		受変電設備 1997.0年	2.00点
品質	津波性能	2.79点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.18GJ (61.06)	3.00点
供給	面積/人数	26.99m ² (53.66)	3.00点
供給	生徒充足率	93.67%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	460,833円 (49.85)	2.00点
財務	コスト/面積	1,884円 (42.66)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,087	百万円	維持管理費 B(※2)	64	百万円
	使用年数 A(※1)	28.1	年	小計	2,151	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	442	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	100	百万円	建替え経費	1,083	百万円
	解体費	74	百万円	小計	1,722	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	442	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,970	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,943	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模の普通・商業高校である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、敷地北西部分の地盤沈下が著しく、受水槽の傾斜もある。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

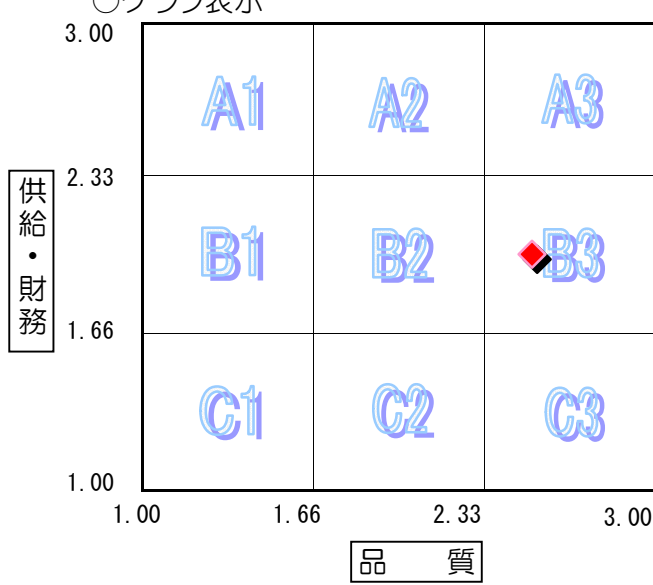
基本情報	施設番号	807057012002	施設名称	掛川東高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	掛川東高校		
	用途	教育施設		設置年	2003	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	72,238.01 m ²	延床面積	11,109.64 m ²		
	土地台帳価格	2,111,517 千円	建物台帳価格	1,293,996 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:掛川駅から バス7分 徒歩3分				

◆第1段階 B3 品質 2.62点 供給・財務 2.00点

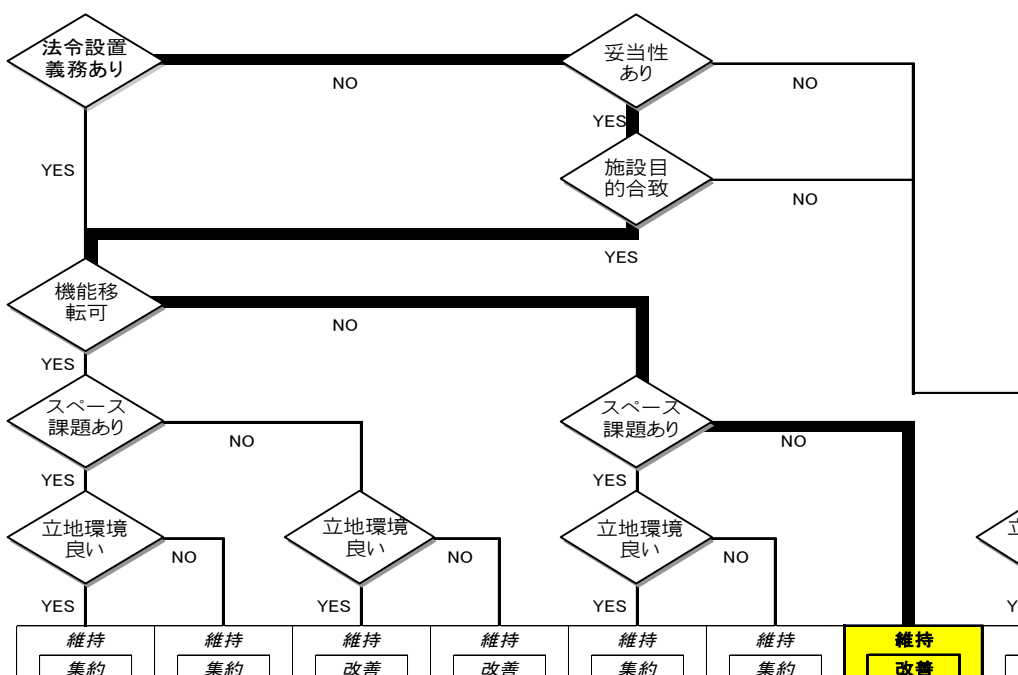
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	13.0年	3.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2003.0年 2.00点
		外壁	2003.0年 2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2004.7年 2.19点
		受変電設備	2003.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.30GJ (57.49)	3.00点
供給	面積/人数	15.83m ² (46.17)	3.00点
供給	生徒充足率	97.50%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	249,907円 (46.00)	2.00点
財務	コスト/面積	1,507円 (42.12)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,595	百万円	維持管理費 B(※2)	50	百万円
	使用年数 A(※1)	13.0	年	小計	1,645	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	357	百万円	維持管理費 (※3)	39	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	396	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	357	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,404	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,001	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については概ね良好な状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

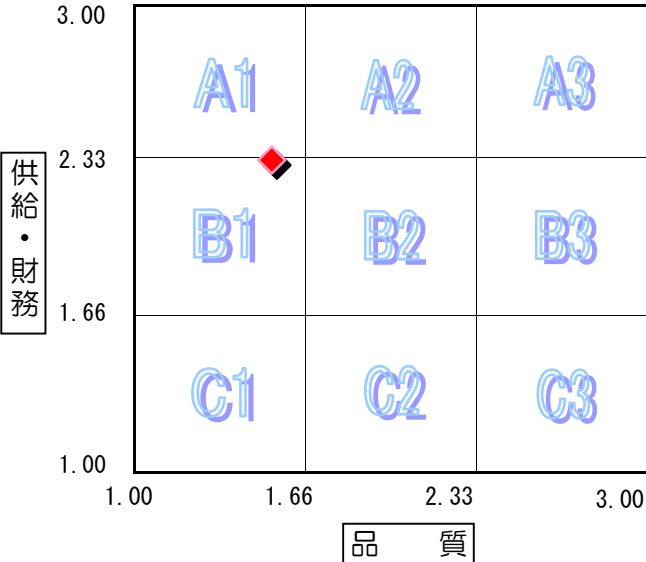
基本情報	施設番号	807058012001	施設名称	掛川西高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	掛川西高校		
	用途	教育施設		設置年	1971	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	37,138.71 m ²		延床面積	12,312.84 m ²	
	土地台帳価格	1,937,208 千円		建物台帳価格	217,377 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:掛川駅から 徒歩10分 タクシー5分				

◆ 第1段階 A1 品質 1.57点 供給・財務 2.33点

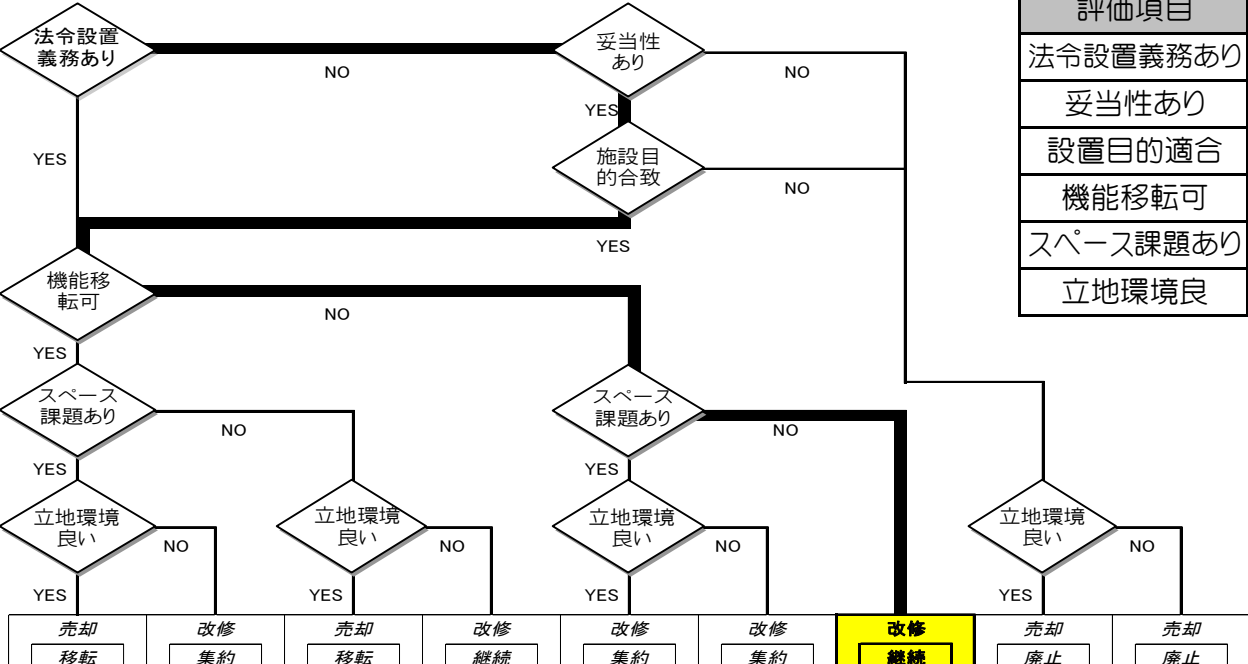
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	45.5年	1.22点
品質	建築劣化度	屋上防水	1987.7年 1.61点
		外壁	2000.2年 2.37点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.8年 1.32点
		受変電設備	2003.0年 0.37点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.31GJ (57.22)	3.00点
供給	面積/人数	12.64m ² (44.04)	2.00点
供給	生徒充足率	101.46%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	3.00点
財務	コスト/人	525,405円 (51.03)	2.00点
財務	コスト/面積	3,072円 (44.36)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	501 百万円	維持管理費 B(※2)	119 百万円
	使用年数 A(※1)	45.5 年	小計	620 百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	396 百万円	維持管理費 (※3)	26 百万円
	大規模改修費	299 百万円	建替え経費	2,941 百万円
	解体費	201 百万円	小計	3,864 百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	396 百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,664 百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,435 百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通・理数を併設する高校である。
これまでの保全の状況	校舎等の屋上防水の劣化が著しく、内部には雨漏り跡が見受けられる。
その他	平成28～29年度普通教室棟大規模改修予定

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

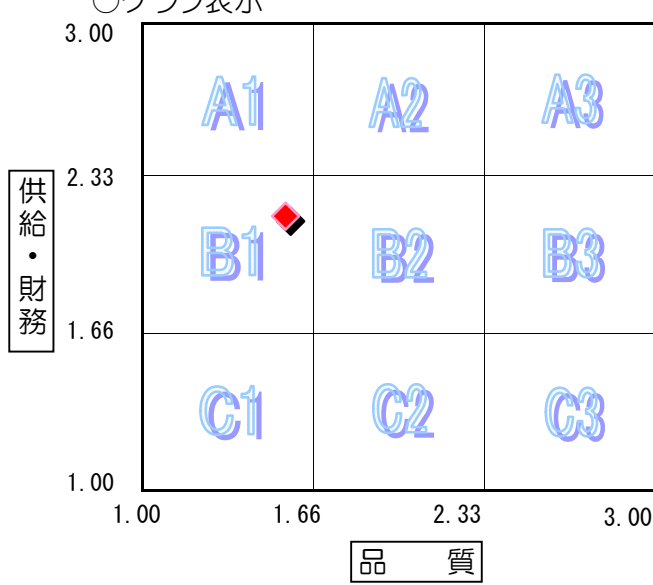
基本情報	施設番号	807059012001	施設名称	掛川工業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	掛川工業高校		
	用途	教育施設		設置年	1964	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	49,770.22 m ²		延床面積	15,685.99 m ²	
	土地台帳価格	2,770,708 千円		建物台帳価格	321,277 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:掛川駅から 徒歩20分				

◆ 第1段階 B1 品質 1.59点 供給・財務 2.17点

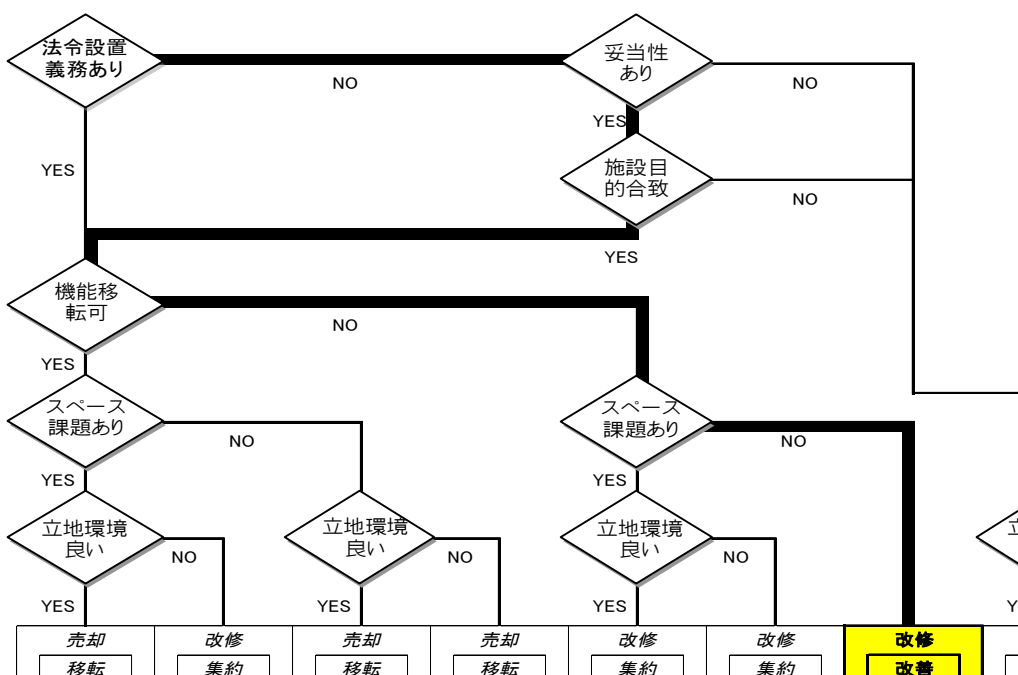
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.3年	1.32点
品質	建築劣化度	屋上防水 1996.1年	1.67点
		外壁 1997.4年	1.99点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1992.1年	0.80点
		受変電設備 1972.7年	1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.24GJ (59.43)	3.00点
供給	面積/人数	25.30m ² (52.53)	3.00点
供給	生徒充足率	103.33%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	656,192円 (53.41)	2.00点
財務	コスト/面積	3,430円 (44.87)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,112	百万円	維持管理費 B(※2)	93	百万円
	使用年数 A(※1)	43.3	年	小計	1,205	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	252	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	274	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	505	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,394	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,650	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模工業高校である。
これまでの保全の状況	建物外部はクラックや庇裏の爆裂があり、内部についてもクラックが多数見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807060012001	施設名称	小笠高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	小笠高校		
	用途	教育施設		設置年	1968	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	119,993.83 m ²	延床面積	17,725.35 m ²		
	土地台帳価格	2,122,005 千円	建物台帳価格	1,013,096 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 菊川駅から バス10分 徒歩5分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.75点 供給・財務 2.50点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	42.7年	1.34点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.6年 2.28点
		外壁	2000.2年 1.95点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1990.0年 1.72点
		受変電設備	1995.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.24GJ (59.45)	3.00点
供給	面積/人数	24.86m ² (52.23)	3.00点
供給	生徒充足率	99.03%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	190,718円 (44.92)	3.00点
財務	コスト/面積	1,022円 (41.42)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的の適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	862	百万円	維持管理費 B(※2)	95	百万円
	使用年数 A(※1)	42.7	年	小計	957	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	570	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	55	百万円	建替え経費	4,344	百万円
	解体費	297	百万円	小計	5,288	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	570	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,835	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	6,384	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模総合高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な状態であるが、防水の劣化や外壁のクラックが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

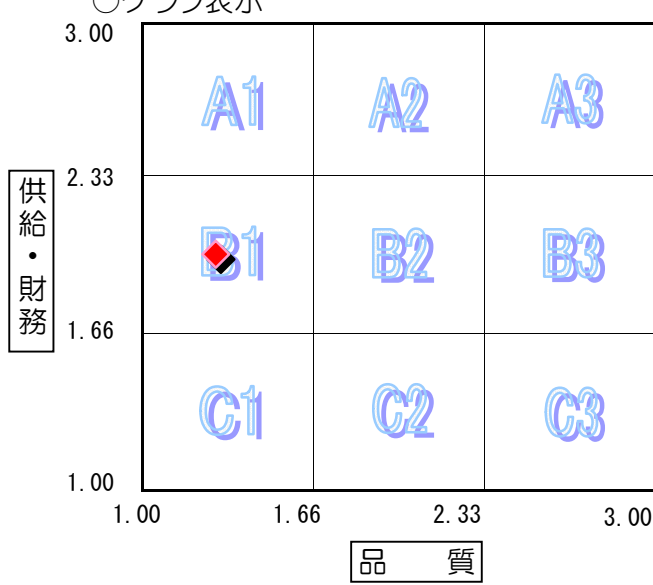
基本情報	施設番号	807060012002	施設名称	小笠高等学校高田ヶ丘実習地	外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	小笠高校	
	用途	教育施設	設置年	1974	
	施設目的	高等学校			内部 
	敷地面積	55,373.73 m ²	延床面積	200.16 m ²	
	土地台帳価格	3,964 千円	建物台帳価格	0 千円	
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: 菊川駅から バス10分 徒歩5分			

◆ 第1段階 B1 品質 1.30点 供給・財務 2.00点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

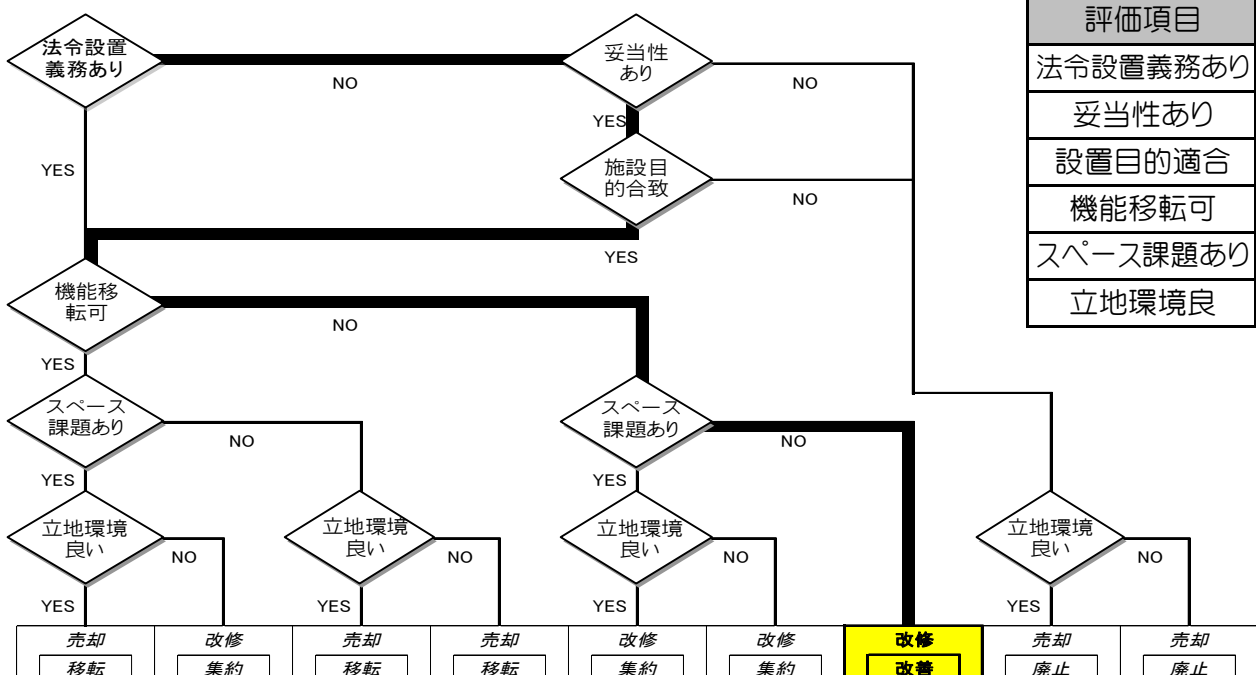
品質	建築後経過年数	42.0年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1974.0年 1.00点
		外壁	1974.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1974.0年 1.00点
		受変電設備	1974.0年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.32GJ (56.95)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	2,584円 (43.66)	3.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	9	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	42.0	年	小計	9	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	6	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	37	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	43	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	6	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	43	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	72	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模総合高校である。
これまでの保全の状況	建物等について、概ね良好な状態であるが、防水の劣化や外壁のクラックが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

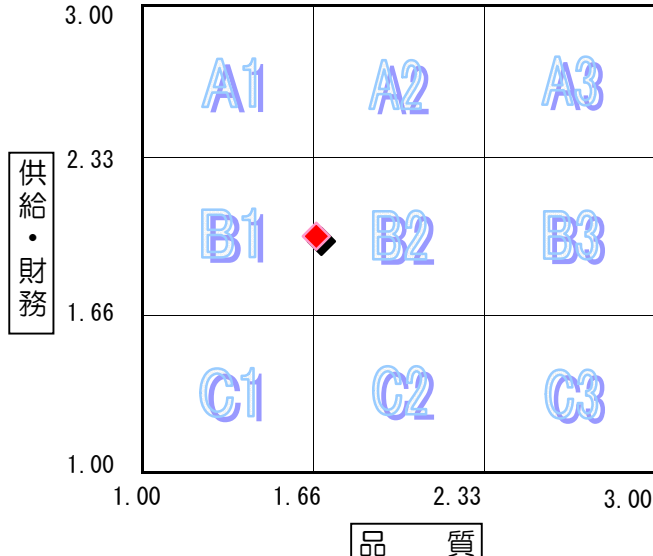
基本情報	施設番号	807061012001	施設名称	池新田高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	池新田高校			
	用途	教育施設		設置年	1993		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	42,992.13 m ²		延床面積	12,711.55 m ²		内部
	土地台帳価格	1,183,205 千円		建物台帳価格	1,016,078 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²			
	交通アクセス	最寄り駅: 菊川駅から バス35分					

◆ 第1段階 **B2** 品質 1.72点 供給・財務 2.00点

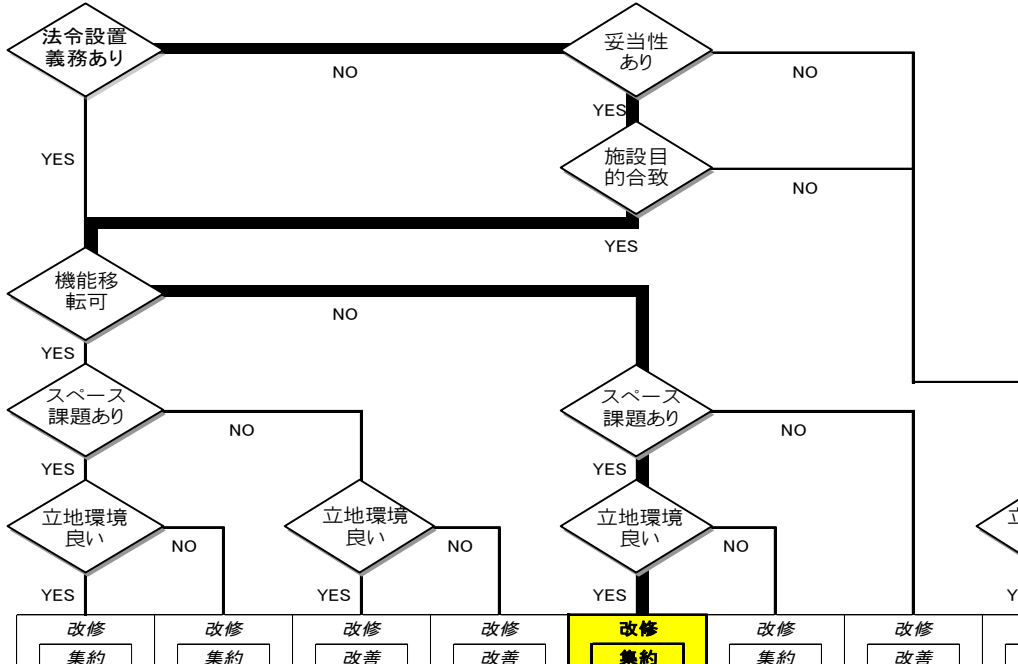
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	34.9年	1.50点
品質	建築劣化度	屋上防水	1998.5年 1.50点
		外壁	1997.6年 1.72点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2015.0年 2.29点
		受変電設備	1993.0年 0.44点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.19GJ (60.96)	3.00点
供給	面積/人数	25.47m ² (52.64)	3.00点
供給	生徒充足率	93.45%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	194,753円 (45.00)	3.00点
財務	コスト/面積	1,149円 (41.61)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 集約**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,882	百万円	維持管理費 B(※2)	76	百万円
	使用年数 A(※1)	34.9	年	小計	1,958	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	409	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	1,967	百万円
	解体費	135	百万円	小計	2,532	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	409	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,750	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,578	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模普通高校である。 掛川特別支援学校御前崎分校が併設されている。
これまでの保全の状況	校舎等の外壁にクラックや鉄筋の爆裂が生じており、内部は雨漏り跡が見受けられる。
その他	御前崎市唯一の学校であることから、地域の教育機会を保障する観点から、現時点では集約の予定なし。

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

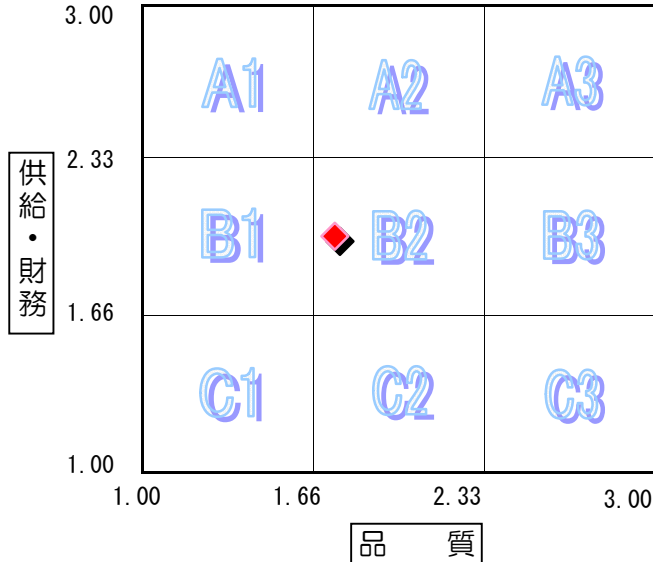
基本情報	施設番号	807062012001	施設名称	横須賀高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	横須賀高校			
	用途	教育施設		設置年	1963		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	52,021.70 m ²		延床面積	10,258.86 m ²		内部
	土地台帳価格	985,662 千円		建物台帳価格	91,246 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:袋井駅から バス25分 徒歩5分					

◆第1段階 **B2** 品質 1.80点 供給・財務 2.00点

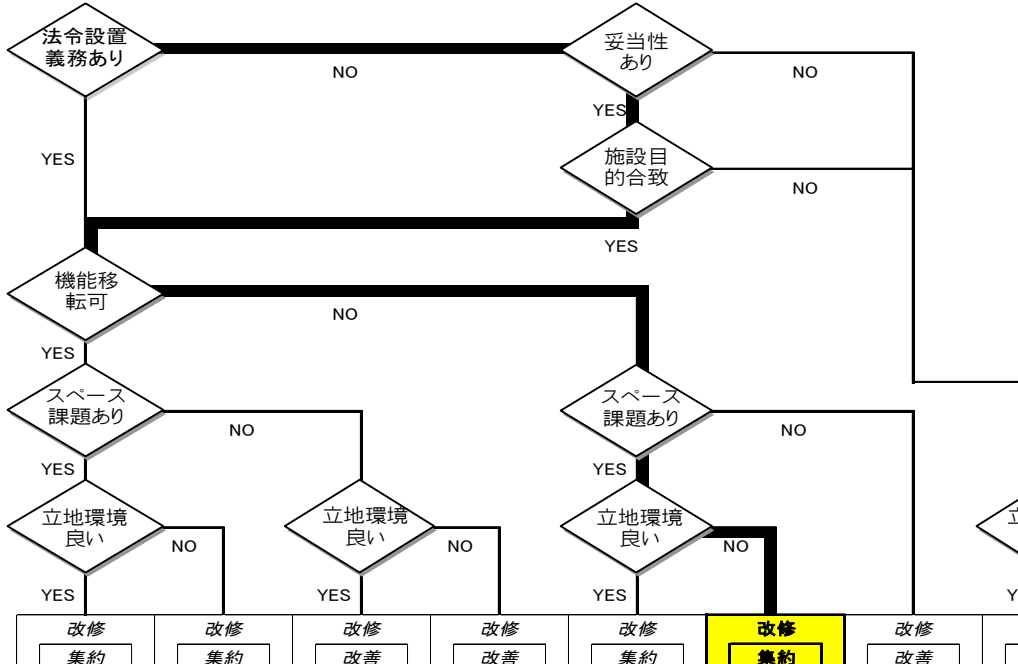
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	48.5年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2000.5年 2.18点
		外壁	2012.9年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1992.0年 0.78点
		受変電設備	2010.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.16)	3.00点
供給	面積/人数	21.37m ² (49.89)	3.00点
供給	生徒充足率	100.00%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	869,530円 (57.30)	1.00点
財務	コスト/面積	3,814円 (45.42)	2.00点

○グラフ表示



◆第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 集約**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	NO

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	201	百万円	維持管理費 B(※2)	70	百万円
	使用年数 A(※1)	48.5	年	小計	271	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	330	百万円	維持管理費 (※3)	14	百万円
	大規模改修費	609	百万円	建替え経費	2,135	百万円
	解体費	146	百万円	小計	3,234	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	330	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,220	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,695	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年4クラスの小規模普通高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は鉄骨部に発錆があり、内部はクラックが多数見受けられる。
その他	比較的人口規模の大きい掛川地域においては、複数の選択肢の高校が必要であるという観点から、現時点では集約の予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

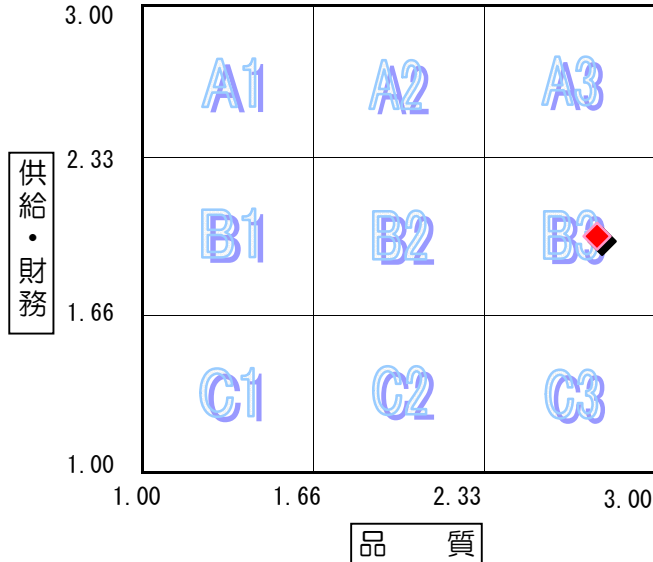
基本情報	施設番号	807063012003	施設名称	遠江総合高等学校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	遠江総合高校		
	用途	教育施設	設置年	2009		
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	52,281.47 m ²	延床面積	14,121.37 m ²		内部
	土地台帳価格	1,949,751 千円	建物台帳価格	2,153,556 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:遠州森駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 **B3** 品質 2.89点 供給・財務 2.00点

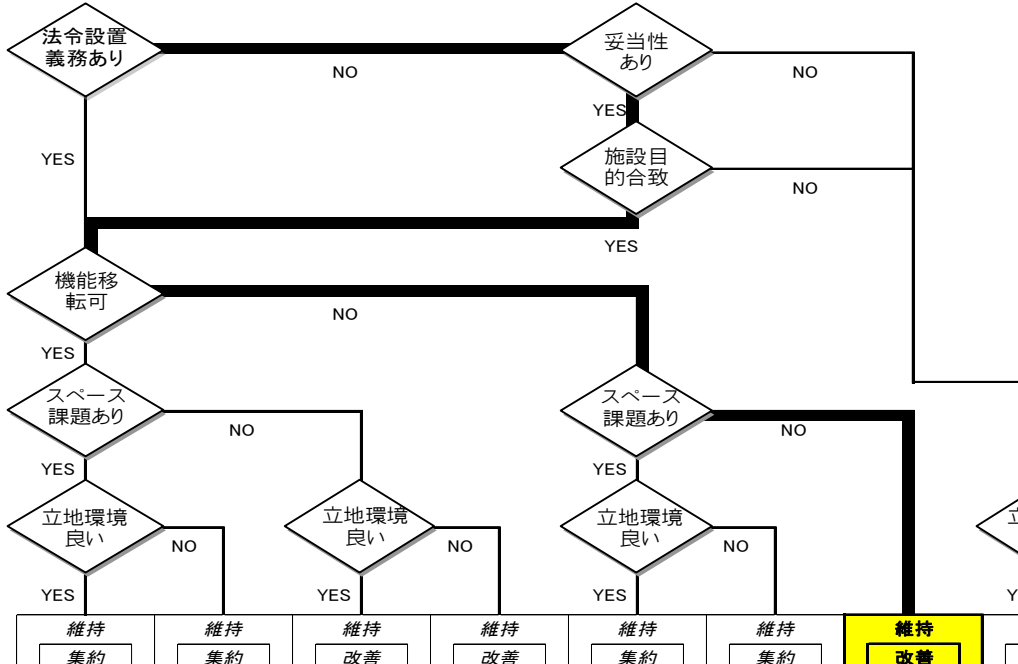
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	8.5年	2.93点
品質	建築劣化度	屋上防水	2007.5年 2.86点
		外壁	2007.5年 2.86点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.2年 2.63点
		受変電設備	2007.5年 2.86点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.07GJ (64.25)	3.00点
供給	面積/人数	20.26m ² (49.15)	3.00点
供給	生徒充足率	96.81%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	243円 (40.31)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 維持** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,526	百万円	維持管理費 B(※2)	9	百万円
	使用年数 A(※1)	8.5	年	小計	2,535	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	454	百万円	維持管理費 (※3)	11	百万円
	大規模改修費	67	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	532	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	454	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,055	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,086	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模総合高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

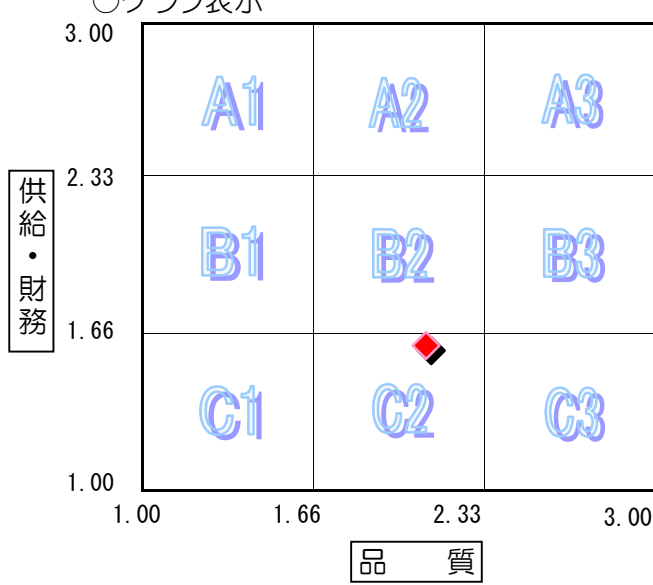
基本情報	施設番号	807065012002	施設名称	天竜高等学校春野校舎		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	天竜高校		
	用途	教育施設		設置年	1980	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	41,727.91 m ²	延床面積	6,440.41 m ²		内部 
	土地台帳価格	283,028 千円	建物台帳価格	290,086 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:袋井駅から バス80分 徒歩5分				

◆ 第1段階 C2 品質 2.18点 供給・財務 1.60点

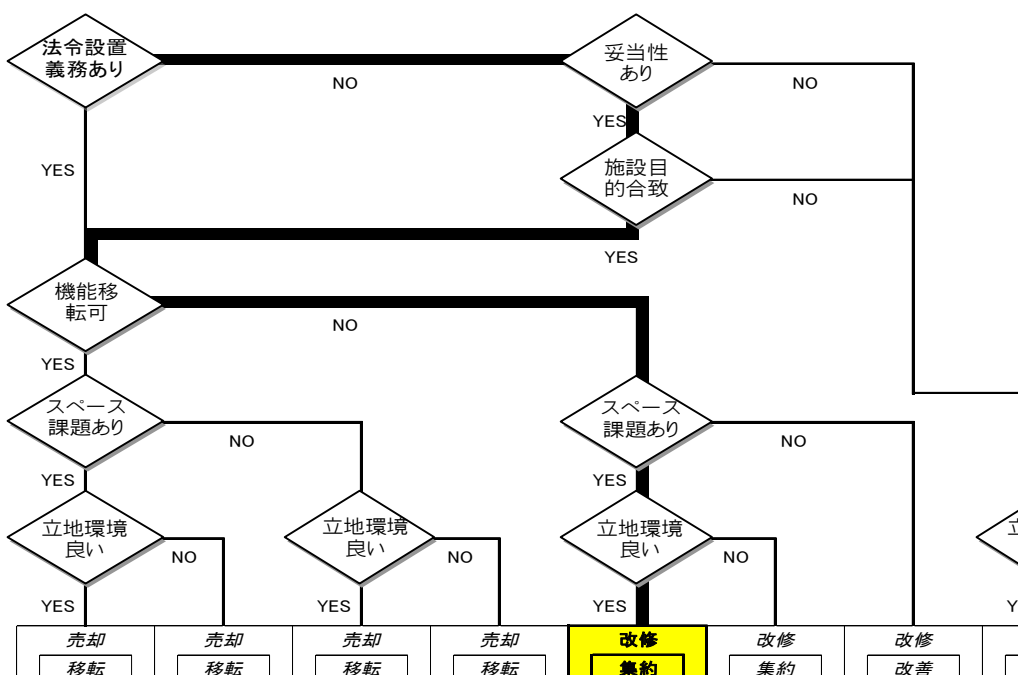
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.1年	2.12点
品質	建築劣化度	屋上防水 1995.8年	1.71点
		外壁 2000.0年	2.30点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1992.3年	1.71点
		受変電設備 1996.0年	2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.16GJ (61.58)	3.00点
供給	面積/人数	79.51m ² (88.88)	1.00点
供給	生徒充足率	57.86%	1.00点
供給	入学試験倍率	-	-
財務	コスト/人	240,774円 (45.84)	2.00点
財務	コスト/面積	1,159円 (41.62)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	957	百万円	維持管理費 B(※2)	62	百万円
	使用年数 A(※1)	33.1	年	小計	1,019	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	207	百万円	維持管理費 (※3)	19	百万円
	大規模改修費	1,043	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,269	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	207	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,393	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	2,320	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	各学年2クラスの小規模普通高校である。
これまでの保全の状況	建物外部はタイルの浮きや防水層の劣化が見受けられ、内部はクラックが発生している状態である。
その他	H26分校化

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望有 集約・改修と判断しているが、過疎地域の教育機会を保障する観点から改善・改修が妥当
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの課題の解消、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

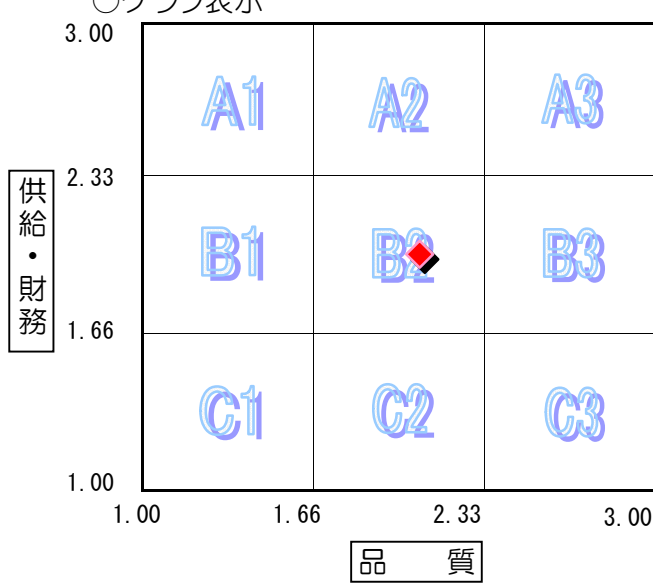
基本情報	施設番号	807066012001	施設名称	袋井高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	袋井高校		
	用途	教育施設		設置年	1976	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	63,361.82 m ²		延床面積	10,795.86 m ²	
	土地台帳価格	1,317,745 千円		建物台帳価格	358,965 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:袋井駅から バス5分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.15点 供給・財務 2.00点

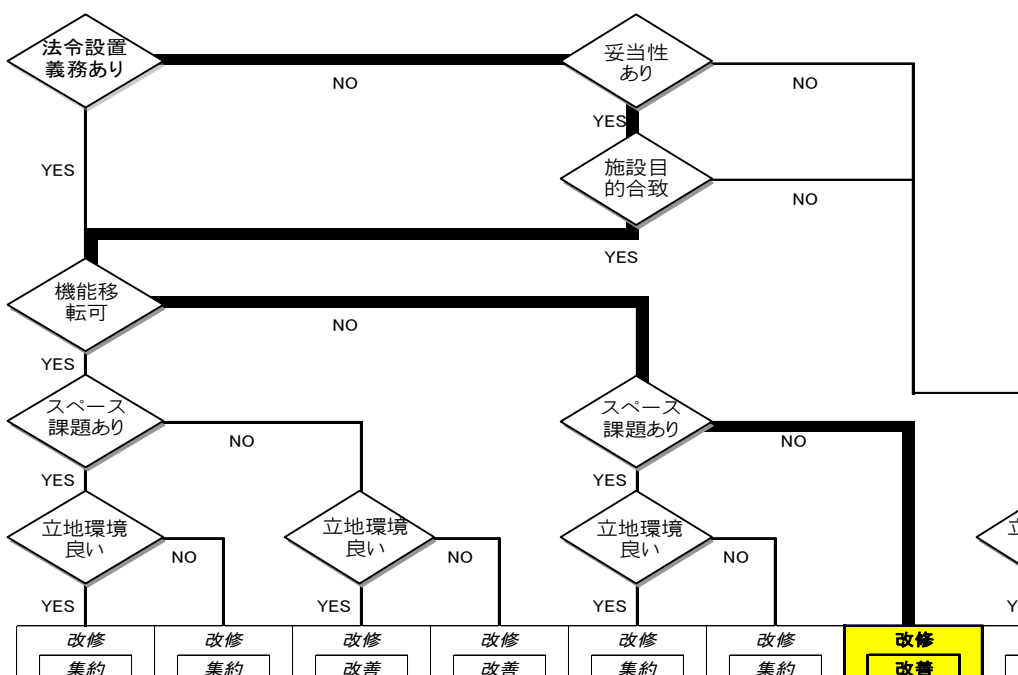
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.8年	2.06点
品質	建築劣化度	屋上防水 1999.3年	2.02点
		外壁 2006.0年	2.57点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1991.7年	1.11点
		受変電設備 1997.0年	2.06点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.24GJ (59.31)	3.00点
供給	面積/人数	12.06m ² (43.65)	2.00点
供給	生徒充足率	97.28%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	223,042円 (45.51)	2.00点
財務	コスト/面積	1,405円 (41.97)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	665	百万円	維持管理費 B(※2)	118	百万円
	使用年数 A(※1)	36.8	年	小計	783	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	347	百万円	維持管理費 (※3)	32	百万円
	大規模改修費	1,805	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,185	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	347	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,336	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,888	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模普通高校である。
これまでの保全の状況	渡り廊下や駐輪場等の付属建物に発錆が見受けられるが、校舎等は概ね良好な状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807067012001	施設名称	袋井商業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	袋井商業高校		
	用途	教育施設		設置年	1983	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	48,383.93 m ²	延床面積	10,553.20 m ²		
	土地台帳価格	1,771,820 千円	建物台帳価格	266,931 千円		
	用途地域	住居地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:袋井駅からバス7分				

◆ 第1段階 **B2** 品質 1.93点 供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	42.7年	1.51点
品質	建築劣化度	屋上防水	1981.8年 1.00点
		外壁	1997.6年 2.07点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2003.7年 1.94点
		受変電設備	2013.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.79)	3.00点
供給	面積/人数	18.42m ² (47.91)	3.00点
供給	生徒充足率	95.50%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	448,086円 (49.62)	2.00点
財務	コスト/面積	2,505円 (43.55)	3.00点

○グラフ表示

品質

◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 集約**

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良い	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	752	百万円	維持管理費 B(※2)	149	百万円
	使用年数 A(※1)	42.7	年	小計	901	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	339	百万円	維持管理費 (※3)	35	百万円
	大規模改修費	998	百万円	建替え経費	1,577	百万円
	解体費	108	百万円	小計	3,057	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	339	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,283	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,801	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模商業高校である。
これまでの保全の状況	駐輪場等の付属建物に発錆が生じているが、校舎等は概ね良好な状態である。 学校敷地においては、地盤沈下の問題がある。
その他	袋井地域の唯一の商業高校であり、地域の商業教育を保障する観点から現時点では集約の予定なし。

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807068012001	施設名称	二俣高等学校跡地		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	天竜高校		
	用途	教育施設		設置年	1964	
	施設目的	高等学校(廃校)				内部
	敷地面積	38,157.78 m ²		延床面積	8,516.62 m ²	
	土地台帳価格	791,921 千円		建物台帳価格	50,011 千円	
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:二俣本町から 徒歩15分				

◆ 第1段階 B1 品質 1.32点 供給・財務 1.67点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	48.4年	1.14点
品質	建築劣化度	屋上防水	1966.8年 0.76点
		外壁	1967.6年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	-
		受変電設備	-
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 -
品質	エネルギー/面積	0.03GJ (65.50)	3.00点
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 売却 運用面: 廃止

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	298	百万円	維持管理費 B(※2)	62	百万円
	使用年数 A(※1)	48.4	年	小計	360	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	137	百万円	維持管理費 (※3)	19	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	156	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	274	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	1,843	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,067	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	天竜高校がグラウンドを使用。
これまでの保全の状況	
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	校舎部分については、第2段階のとおり、廃止・売却とすることが妥当である。 グラウンド部分については、改修・集約とすることが妥当である。
上を裏付ける根拠(ある場合)	天竜林業高校と二俣高校を再編整備した天竜高校は、旧天竜林業高校敷地のみでは、専門高校等の県立学校の新設校基準55,000㎡を満たしていないことから、二俣高校跡地グラウンドも合わせて使用している。(財政協議済み)



総合評価

施設面: **売却**

運用面: **廃止**

補足	一定の役割を終えた施設であり、廃止・売却を検討する施設。
----	------------------------------

施設アセスメントシート

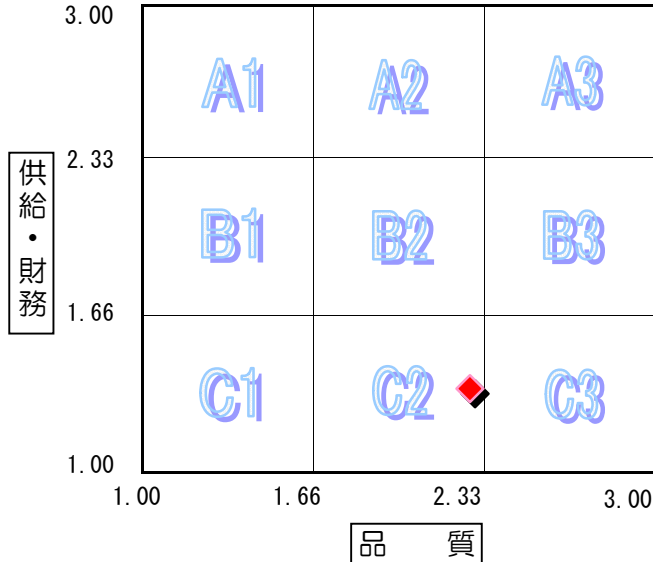
基本情報	施設番号	807069012001	施設名称	天竜高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	天竜高校		
	用途	教育施設		設置年	2014	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	37,720.58 m ²		延床面積	16,467.08 m ²	
	土地台帳価格	667,708 千円		建物台帳価格	2,070,893 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:二俣本町から 徒歩10分				

◆ 第1段階 C3 品質 2.36点 供給・財務 1.33点

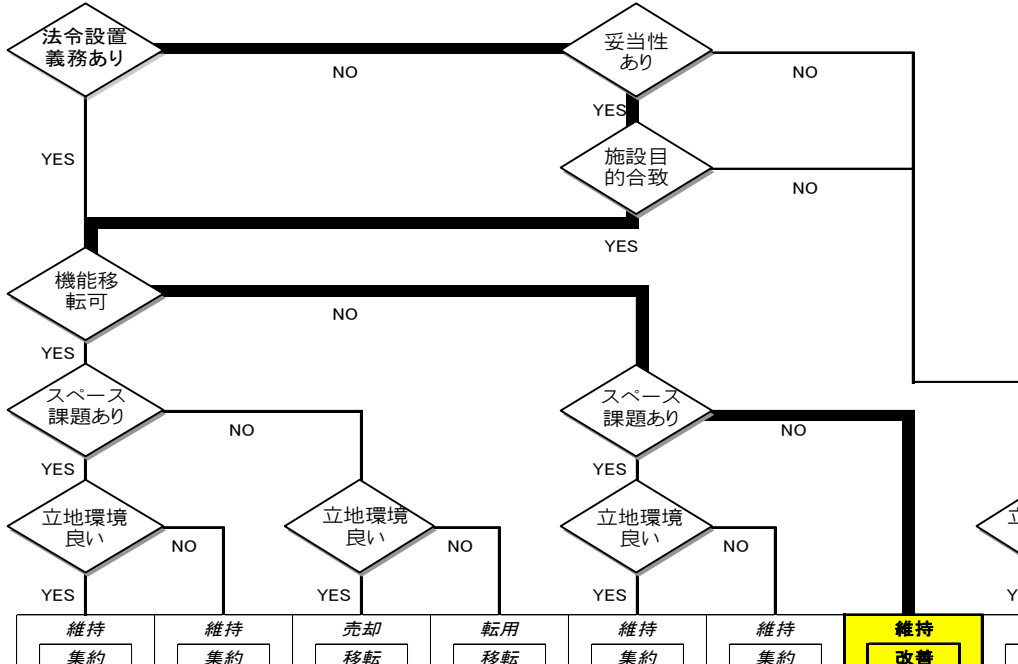
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	12.8年	2.59点
品質	建築劣化度	屋上防水	2003.2年 2.22点
		外壁	2005.1年 2.31点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2009.1年 1.99点
		受変電設備	2014.0年 0.94点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.19GJ (60.79)	3.00点
供給	面積/人数	24.87m ² (52.24)	3.00点
供給	生徒充足率	91.94%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	30,387,542円 (595.74)	1.00点
財務	コスト/面積	166,082円 (277.78)	1.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,681	百万円	維持管理費 B(※2)	54	百万円
	使用年数 A(※1)	12.8	年	小計	2,735	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	530	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
	大規模改修費	650	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,222	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	530	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,563	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,931	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年6クラスの中規模の普通・総合・農業・工業を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は概ね良好な保全状態であるが、内部で一部雨漏りが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

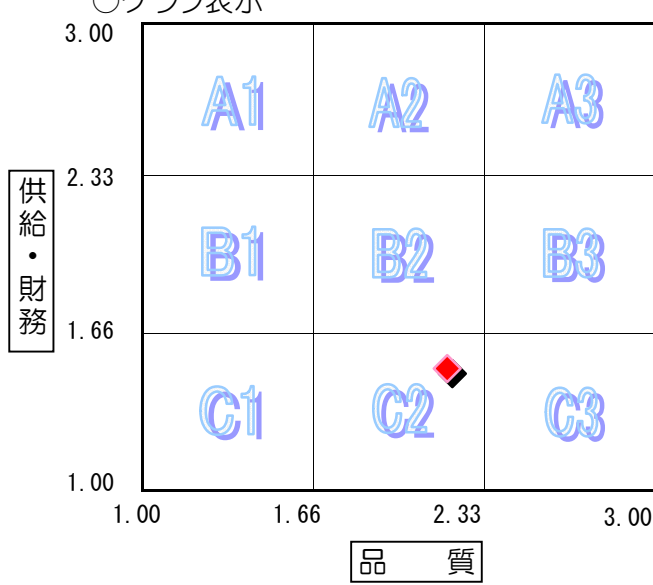
基本情報	施設番号	807070012001	施設名称	佐久間高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	佐久間高校		
	用途	教育施設		設置年	1991	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	61,164.52 m ²	延床面積	9,248.83 m ²		内部
	土地台帳価格	460,831 千円	建物台帳価格	742,594 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 中部天竜駅から 徒歩15分				

◆ 第1段階 C2 品質 2.27点 供給・財務 1.50点

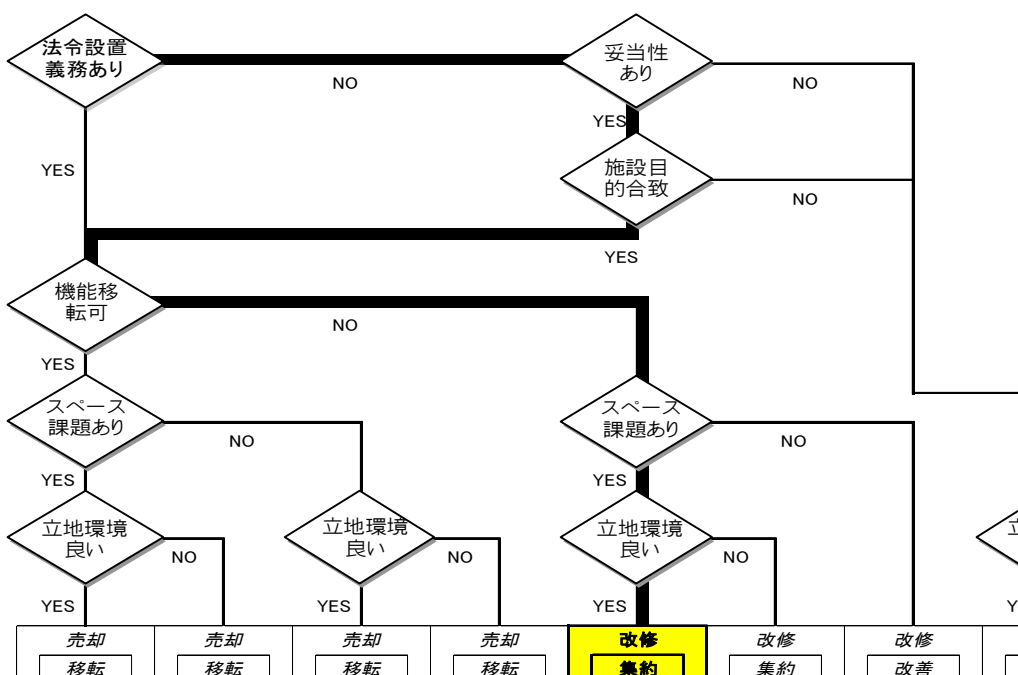
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	30.0年	1.94点
品質	建築劣化度	屋上防水 1994.5年	1.40点
		外壁 2007.9年	2.55点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2001.8年	2.46点
		受変電設備 2015.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.21)	3.00点
供給	面積/人数	87.25m ² (94.08)	1.00点
供給	生徒充足率	53.00%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.4倍	1.00点
財務	コスト/人	546,927円 (51.42)	2.00点
財務	コスト/面積	2,011円 (42.84)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,438	百万円	維持管理費 B(※2)	83	百万円
	使用年数 A(※1)	30.0	年	小計	1,521	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	298	百万円	維持管理費 (※3)	28	百万円
	大規模改修費	475	百万円	建替え経費	169	百万円
	解体費	12	百万円	小計	980	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	298	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,001	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,331	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年2クラスの小規模普通高校である。
これまでの保全の状況	建物については概ね良好な状態であるが、体育館鉄骨部分に発錆が見受けられる。
その他	佐久間地域の唯一の学校であり、過疎地域の教育機会を保障する観点から現時点では集約の予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

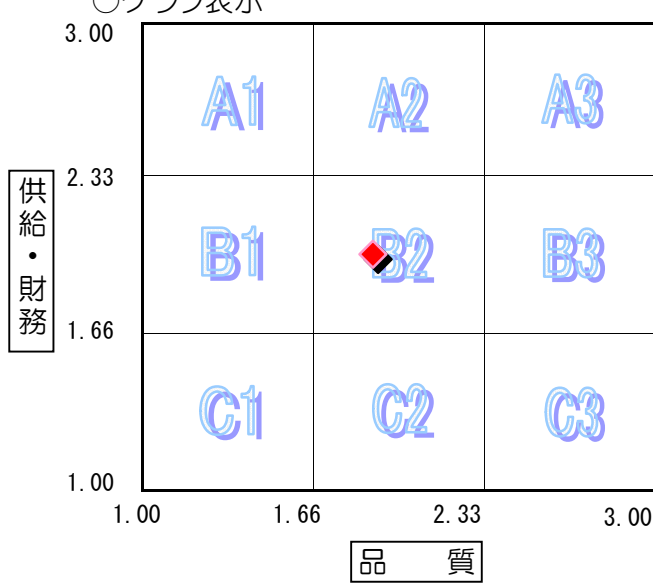
基本情報	施設番号	807071012001	施設名称	磐田南高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	磐田南高校		
	用途	教育施設		設置年	1972	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	42,699.77 m ²	延床面積	13,184.47 m ²		
	土地台帳価格	2,919,383 千円	建物台帳価格	85,250 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: JR磐田駅から 徒歩20分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.96点 供給・財務 2.00点

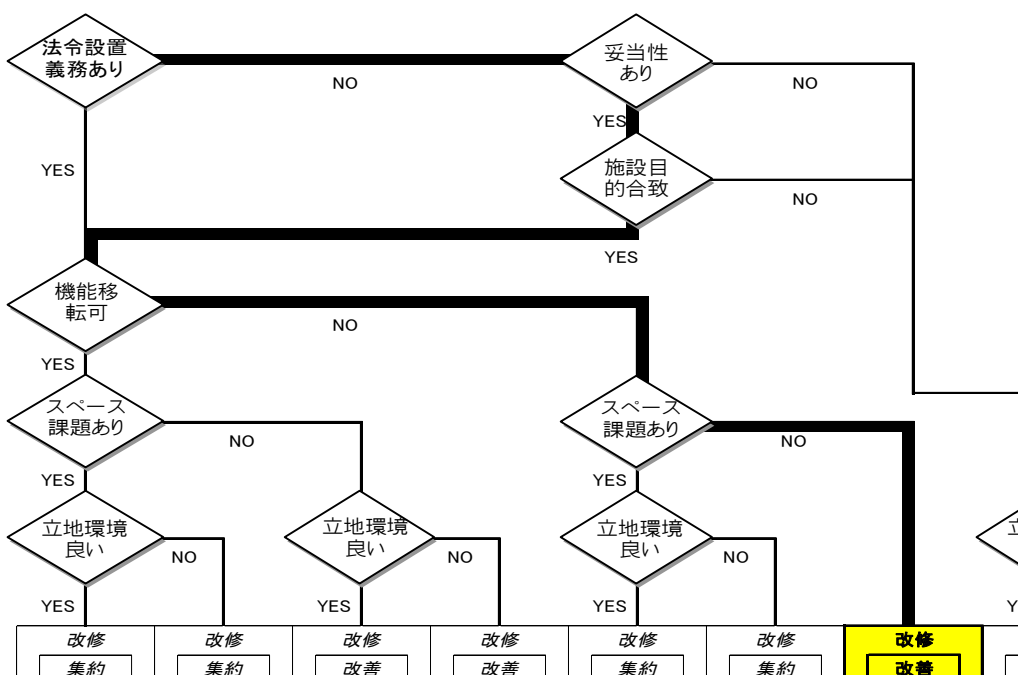
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	46.3年	1.03点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.2年 2.46点
		外壁	2009.9年 2.94点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1993.3年 2.02点
		受変電設備	2010.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.80)	3.00点
供給	面積/人数	13.33m ² (44.50)	2.00点
供給	生徒充足率	103.02%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	475,549円 (50.12)	2.00点
財務	コスト/面積	2,849円 (44.04)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	459	百万円	維持管理費 B(※2)	196	百万円
	使用年数 A(※1)	46.3	年	小計	655	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	424	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
	大規模改修費	772	百万円	建替え経費	2,642	百万円
	解体費	181	百万円	小計	4,061	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	424	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,853	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,749	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模普通高校である。 全日制には理数科があり、定時制も設置されている学校である。
これまでの保全の状況	建物外部はクラックが生じ、鉄骨プレスには発錆があり、内部についてもクラックが見受けられる。
その他	学校敷地は、文化財保護法「包蔵地」指定

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

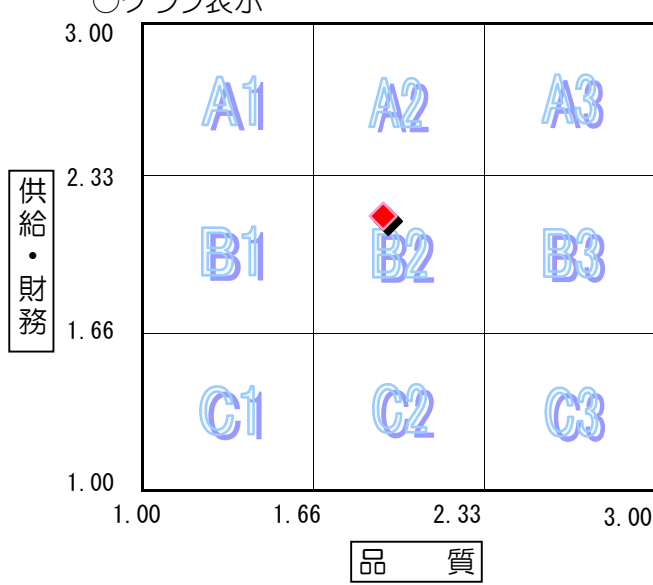
基本情報	施設番号	807072012001	施設名称	磐田北高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	磐田北高校		
	用途	教育施設		設置年	1974	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	32,111.59 m ²		延床面積	13,703.01 m ²	
	土地台帳価格	1,095,678 千円		建物台帳価格	297,107 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅から バス15分 徒歩5分				

◆ 第1段階 **B2** 品質 2.00点 供給・財務 2.17点

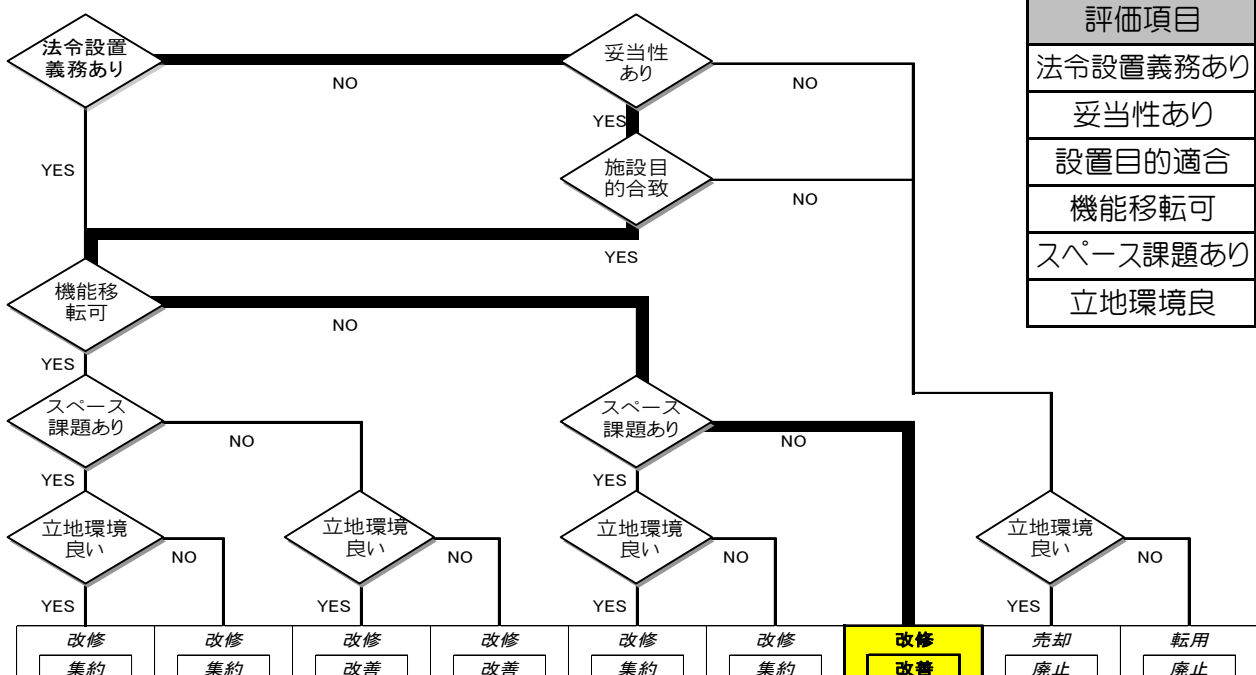
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	41.1年	1.19点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.3年 2.37点
		外壁	1997.9年 2.17点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2004.0年 2.57点
		受変電設備	2012.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.17GJ (61.36)	3.00点
供給	面積/人数	17.89m ² (47.56)	3.00点
供給	生徒充足率	95.75%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	249,869円 (46.00)	2.00点
財務	コスト/面積	1,185円 (41.66)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	643	百万円	維持管理費 B(※2)	97	百万円
	使用年数 A(※1)	41.1	年	小計	740	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	441	百万円	維持管理費 (※3)	24	百万円
	大規模改修費	2,024	百万円	建替え経費	540	百万円
	解体費	37	百万円	小計	3,066	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	441	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,965	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,935	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通・福祉を併設する高校である。 袋井特別支援学校磐田見付分校が併設されている。
これまでの保全の状況	校舎等の外壁はモルタル浮きやひび割れが生じており、内部は雨漏り跡が見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

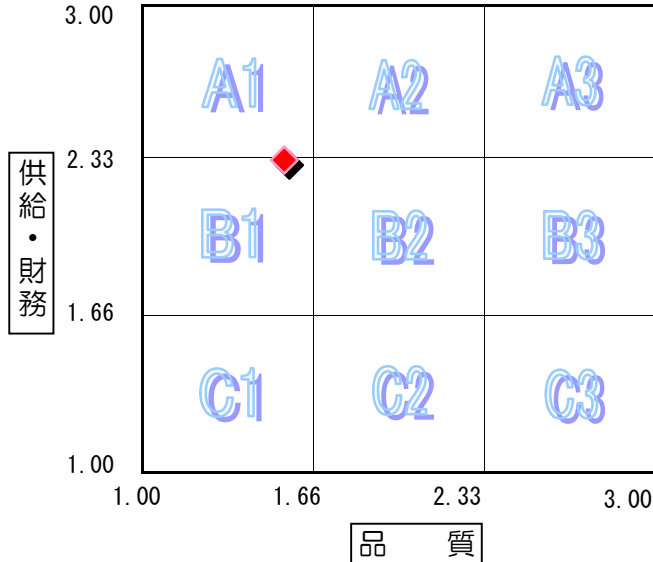
基本情報	施設番号	807073012001	施設名称	磐田農業高等学校	外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	磐田農業高校		
	用途	教育施設	設置年	1975		
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	65,073.26 m ²	延床面積	14,556.73 m ²		内部
	土地台帳価格	4,102,869 千円	建物台帳価格	94,860 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅から 徒歩10分				

◆第1段階 **A1** 品質 1.58点 供給・財務 2.33点

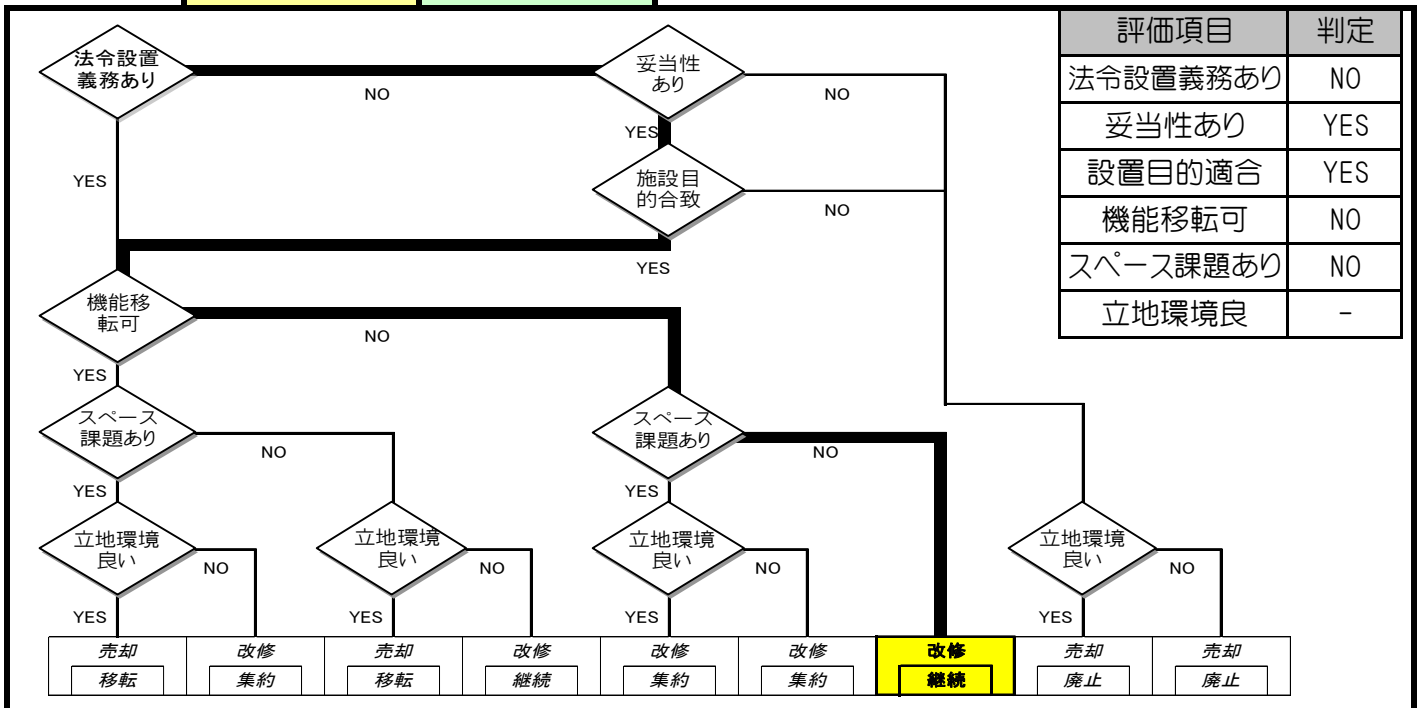
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.6年	1.10点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.5年 1.84点
		外壁	2001.0年 2.08点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.7年 0.92点
		受変電設備	1986.0年 1.54点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.33GJ (56.90)	3.00点
供給	面積/人数	24.26m ² (51.83)	3.00点
供給	生徒充足率	100.00%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	219,822円 (45.45)	2.00点
財務	コスト/面積	1,284円 (41.80)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	575	百万円	維持管理費 B(※2)	171	百万円
	使用年数 A(※1)	43.6	年	小計	746	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	468	百万円	維持管理費 (※3)	39	百万円
	大規模改修費	1,880	百万円	建替え経費	1,226	百万円
	解体費	84	百万円	小計	3,697	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	468	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,150	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,243	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの小規模農業高校である。
これまでの保全の状況	校舎棟において、タイルの浮きや屋上防水の劣化が見受けられる。内部は概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

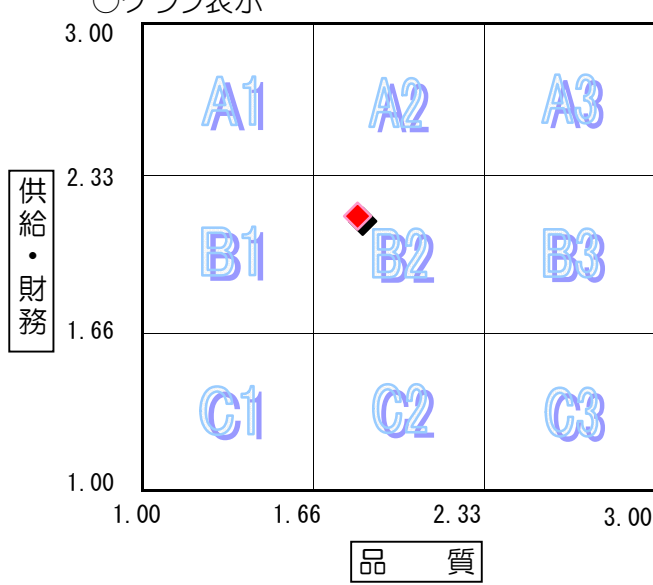
基本情報	施設番号	807074012001	施設名称	磐田西高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	磐田西高校		
	用途	教育施設		設置年	1962	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	24,682.69 m ²	延床面積	9,904.62 m ²		
	土地台帳価格	1,064,930 千円	建物台帳価格	135,531 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:磐田駅から バス10分				

◆ 第1段階 **B2** 品質 1.89点 供給・財務 2.17点

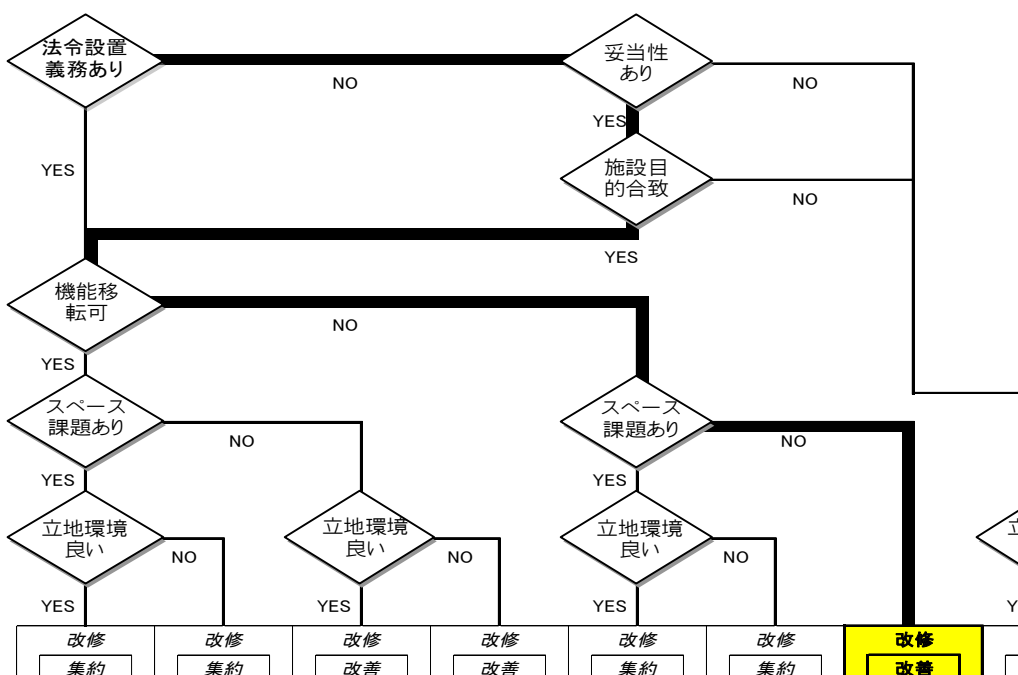
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	46.7年	1.29点
品質	建築劣化度	屋上防水	1995.9年 1.79点
		外壁	1988.7年 1.84点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2006.8年 2.00点
		受変電設備	2015.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (57.99)	3.00点
供給	面積/人数	13.02m ² (44.29)	2.00点
供給	生徒充足率	100.13%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	307,258円 (47.05)	2.00点
財務	コスト/面積	2,047円 (42.89)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 改善**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	379	百万円	維持管理費 B(※2)	150	百万円
	使用年数 A(※1)	46.7	年	小計	529	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	319	百万円	維持管理費 (※3)	32	百万円
	大規模改修費	780	百万円	建替え経費	1,742	百万円
	解体費	119	百万円	小計	2,991	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	319	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,143	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,567	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模の普通・商業を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は概ね良好な状態であるが、内部で一部雨漏りが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

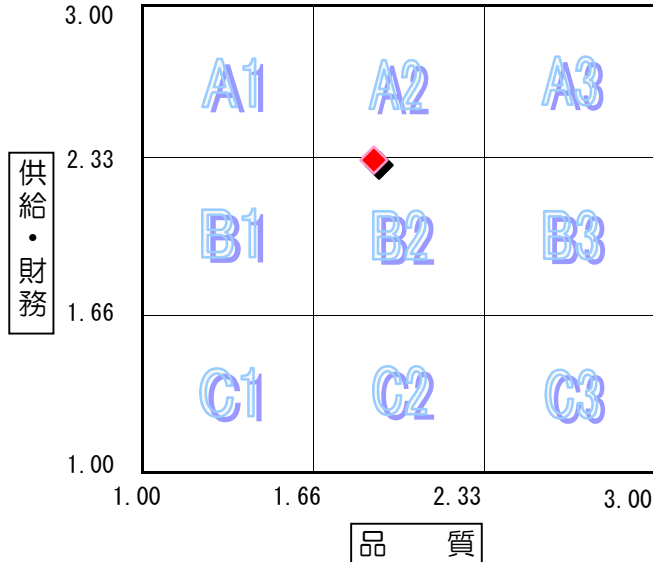
基本情報	施設番号	807075012001	施設名称	浜松北高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松北高校		
	用途	教育施設		設置年	1989	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	38,729.44 m ²		延床面積	13,936.56 m ²	
	土地台帳価格	3,211,335 千円		建物台帳価格	1,029,459 千円	
	用途地域	第1種中高層住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス15分 徒歩30分				

◆ 第1段階 **A2** 品質 1.96点 供給・財務 2.33点

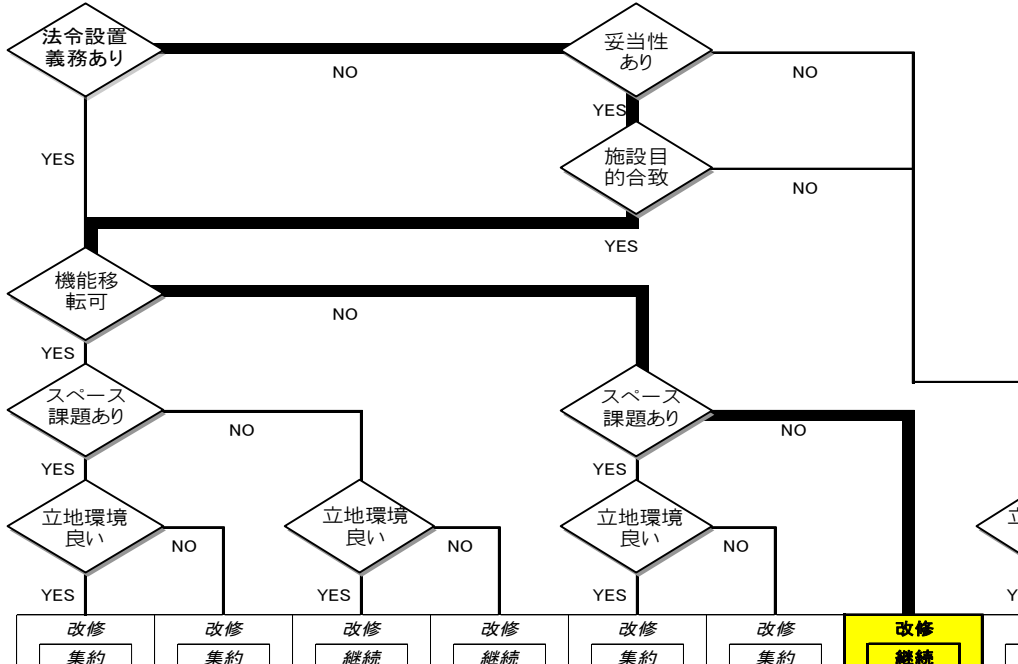
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	33.0年	1.75点
品質	建築劣化度	屋上防水	1992.8年 1.42点
		外壁	2008.2年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1989.7年 0.85点
		受変電設備	- -
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.33GJ (56.88)	3.00点
供給	面積/人数	11.56m ² (43.31)	2.00点
供給	生徒充足率	100.50%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.3倍	3.00点
財務	コスト/人	474,557円 (50.10)	2.00点
財務	コスト/面積	3,201円 (44.54)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 **施設面: 改修** **運用面: 継続**



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,858	百万円	維持管理費 B(※2)	269	百万円
	使用年数 A(※1)	33.0	年	小計	2,127	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	448	百万円	維持管理費 (※3)	82	百万円
	大規模改修費	251	百万円	建替え経費	892	百万円
	解体費	61	百万円	小計	1,733	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	448	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,015	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,019	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年10クラスの大規模の普通・国際を併設する高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	校舎外壁においてタイルの浮きが見受けられるが、概ね良好な保全状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

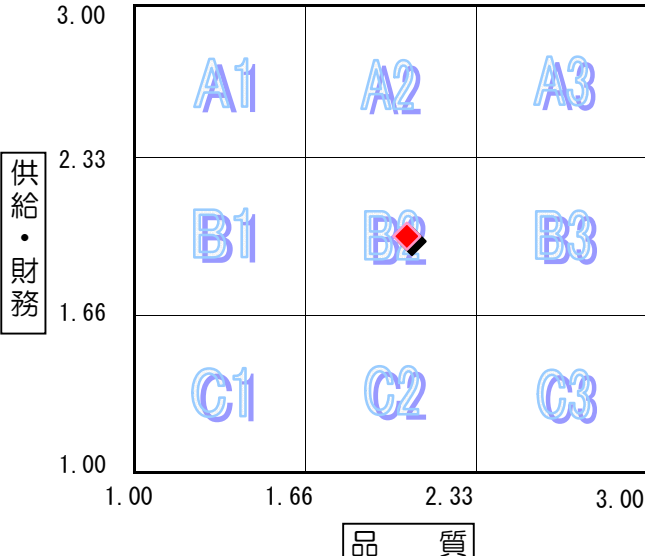
基本情報	施設番号	807076012001	施設名称	浜松西高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松西高校			
	用途	教育施設		設置年	1991		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	54,003.31 m ²		延床面積	13,234.29 m ²		内部
	土地台帳価格	1,232,786 千円		建物台帳価格	1,122,122 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス12分					

◆第1段階 B2 品質 2.13点 供給・財務 2.00点

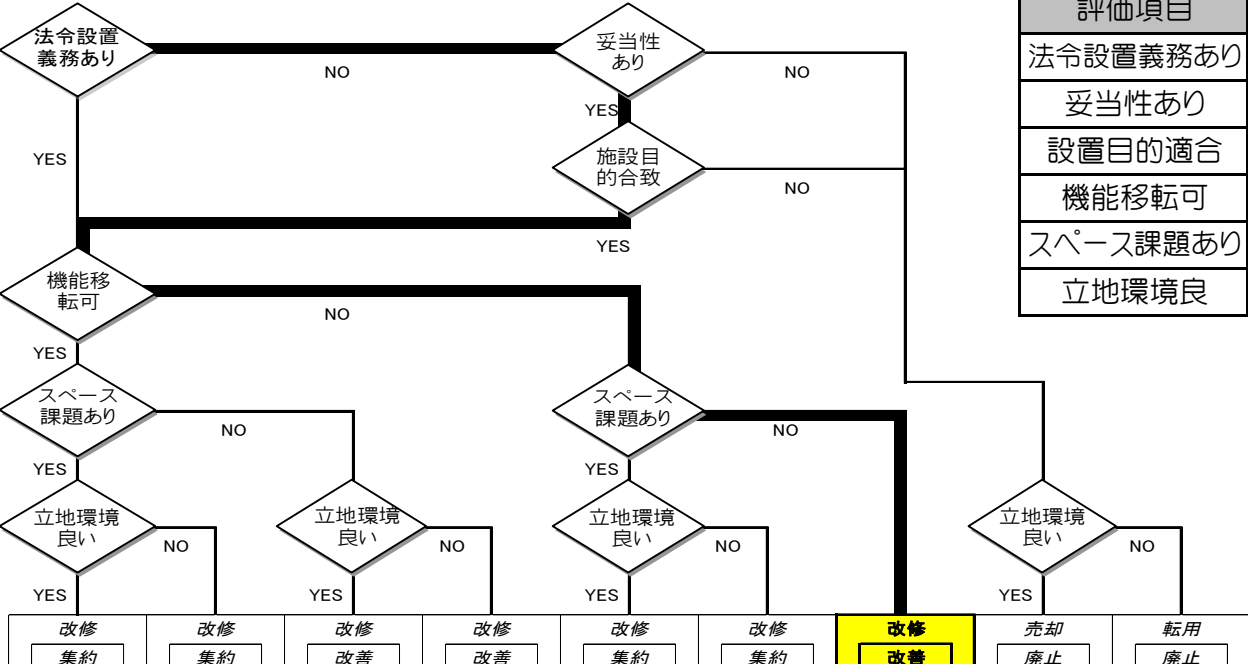
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	30.6年	1.77点
品質	建築劣化度	屋上防水	1986.7年 1.04点
		外壁	2004.0年 2.47点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2000.8年 2.34点
		受変電設備	2014.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.29GJ (58.02)	3.00点
供給	面積/人数	10.90m ² (42.87)	2.00点
供給	生徒充足率	166.99%	1.00点
供給	入学試験倍率	2.5倍	3.00点
財務	コスト/人	280,649円 (46.56)	2.00点
財務	コスト/面積	1,930円 (42.72)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	2,159	百万円	維持管理費 B(※2)	79	百万円
	使用年数 A(※1)	30.6	年	小計	2,238	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	426	百万円	維持管理費 (※3)	26	百万円
	大規模改修費	280	百万円	建替え経費	681	百万円
	解体費	47	百万円	小計	1,459	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	426	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,863	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,767	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年6クラスの中規模普通高校である。 県内2校の中高一貫のうちの1校である。
これまでの保全の状況	建物外部は概ね良好な保全状態であるが、外壁の浮きや屋上防水の劣化が見受けられる。 内壁、天井部分には雨漏り跡がある状態である。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。
----	---

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807077012001	施設名称	浜松南高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松南高校		
	用途	教育施設		設置年	1963	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	42,290.98 m ²	延床面積	11,632.07 m ²		
	土地台帳価格	1,093,463 千円	建物台帳価格	80,228 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分				

◆ 第1段階 B1 品質 1.61点 供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	49.3年	1.12点
品質	建築劣化度	屋上防水	2002.7年 2.14点
		外壁	2004.1年 2.56点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.9年 0.89点
		受変電設備	1988.1年 1.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.27GJ (58.58)	3.00点
供給	面積/人数	10.16m ² (42.37)	2.00点
供給	生徒充足率	102.23%	2.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	193,429円 (44.97)	3.00点
財務	コスト/面積	1,297円 (41.82)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	419	百万円	維持管理費 B(※2)	54	百万円
	使用年数 A(※1)	49.3	年	小計	473	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	374	百万円	維持管理費 (※3)	11	百万円
	大規模改修費	59	百万円	建替え経費	3,148	百万円
	解体費	215	百万円	小計	3,808	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	374	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,517	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,189	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年10クラスの大規模の普通・理数を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建物外部について、割れ、爆裂、タイルの割れが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

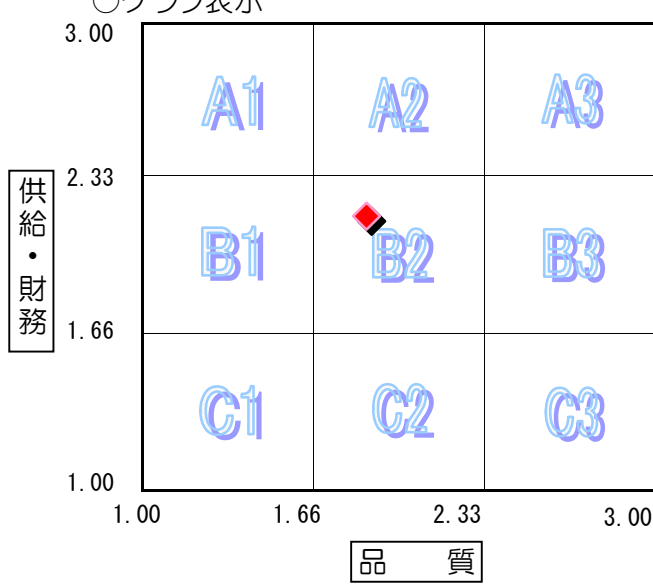
基本情報	施設番号	807078012001	施設名称	浜松湖東高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松湖東高校		
	用途	教育施設		設置年	1969	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	37,704.00 m ²		延床面積	11,458.54 m ²	
	土地台帳価格	1,510,207 千円		建物台帳価格	105,575 千円	
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス30分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.93点 供給・財務 2.17点

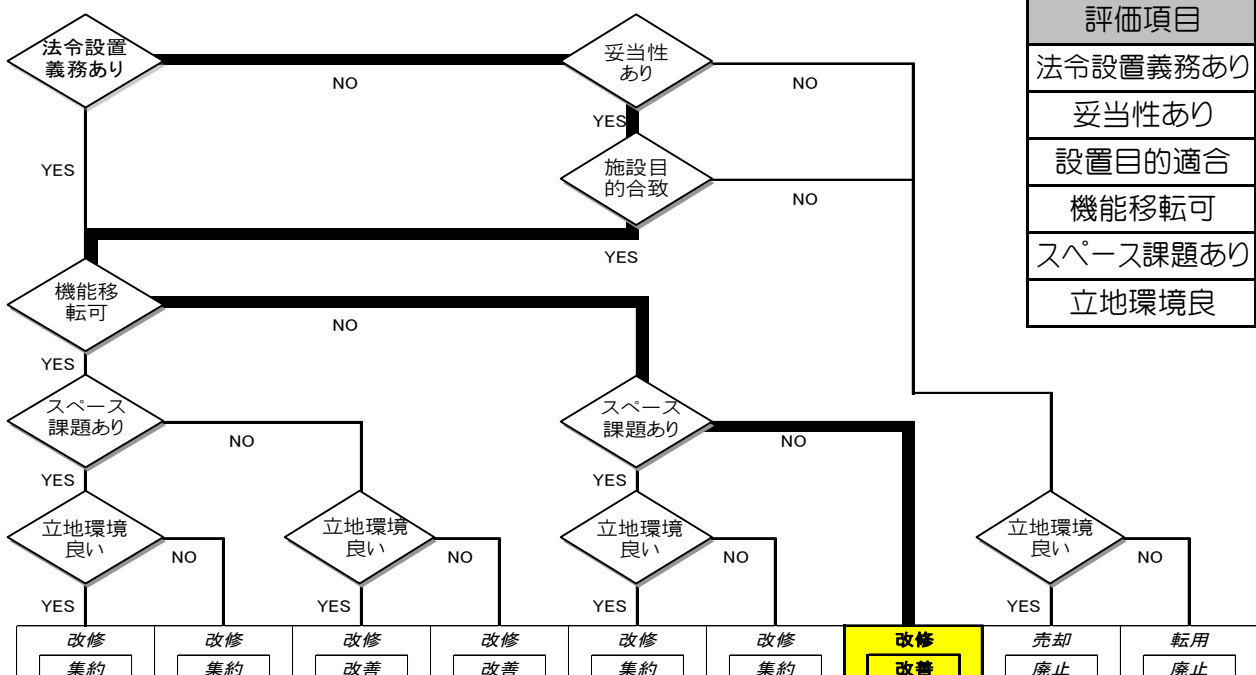
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	44.6年	1.17点
品質	建築劣化度	屋上防水	2006.8年 2.73点
		外壁	2007.6年 2.73点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2008.5年 1.82点
		受変電設備	1994.9年 2.22点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.67)	3.00点
供給	面積/人数	11.30m ² (43.14)	2.00点
供給	生徒充足率	101.40%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	350,339円 (47.83)	2.00点
財務	コスト/面積	2,324円 (43.29)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	465	百万円	維持管理費 B(※2)	75	百万円
	使用年数 A(※1)	44.6	年	小計	540	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	369	百万円	維持管理費 (※3)	17	百万円
	大規模改修費	364	百万円	建替え経費	2,911	百万円
	解体費	199	百万円	小計	3,860	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	369	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,479	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,127	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模普通高校である。
これまでの保全の状況	渡り廊下や部室等は鉄骨塗膜剥離や鉄骨の爆裂が見受けられるが、校舎等は概ね良好な状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

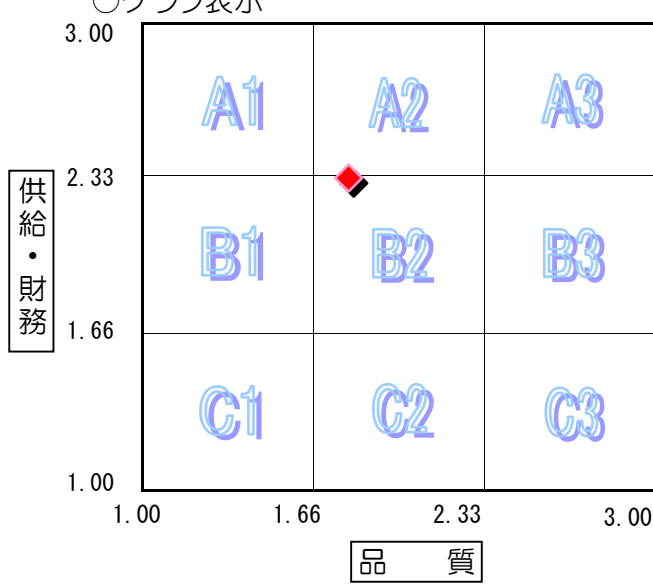
基本情報	施設番号	807079012002	施設名称	浜松東高等学校		外部 	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松東高校			
	用途	教育施設		設置年	1973	内部 	
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	0.00 m ²		延床面積	11,941.47 m ²		
	土地台帳価格	0 千円		建物台帳価格	182,366 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:遠州鉄道 さぎの宮駅から タクシー9分					

◆第1段階 A2 品質 1.85点 供給・財務 2.33点

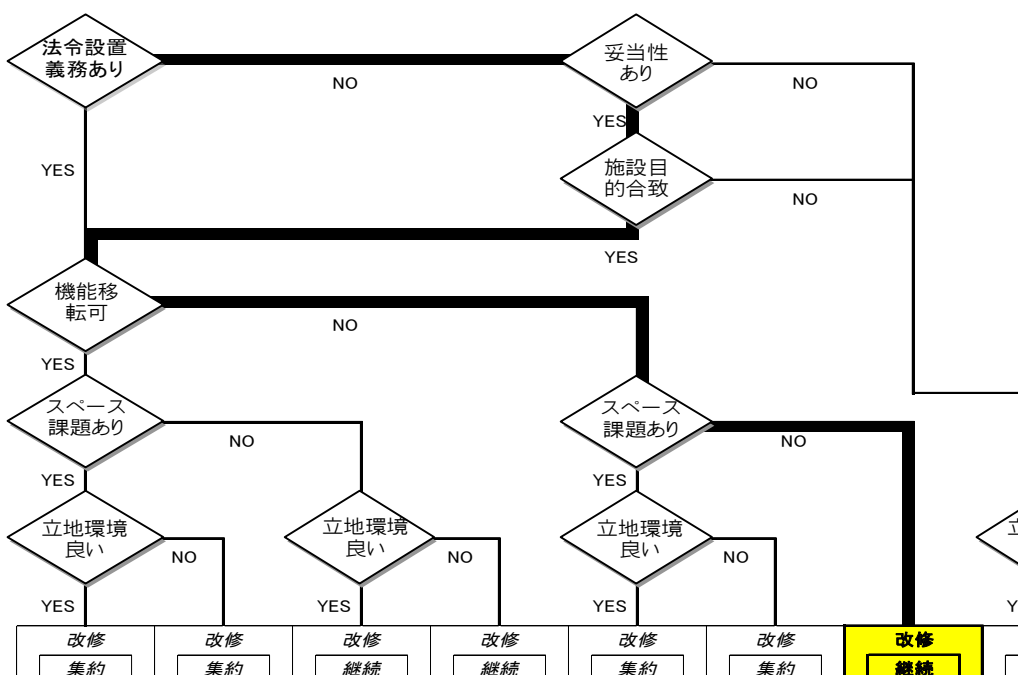
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	43.1年	1.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	2003.9年 2.00点
		外壁	2008.4年 2.38点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1999.0年 2.16点
		受変電設備	2007.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.27GJ (58.39)	3.00点
供給	面積/人数	11.65m ² (43.37)	2.00点
供給	生徒充足率	98.56%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	166,006円 (44.47)	3.00点
財務	コスト/面積	1,015円 (41.41)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	533	百万円	維持管理費 B(※2)	83	百万円
	使用年数 A(※1)	43.1	年	小計	616	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	384	百万円	維持管理費 (※3)	19	百万円
	大規模改修費	2,200	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,603	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	384	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,584	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,301	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年9クラスの大規模の普通・商業を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は一部爆裂が見受けられるが、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、中期的には建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

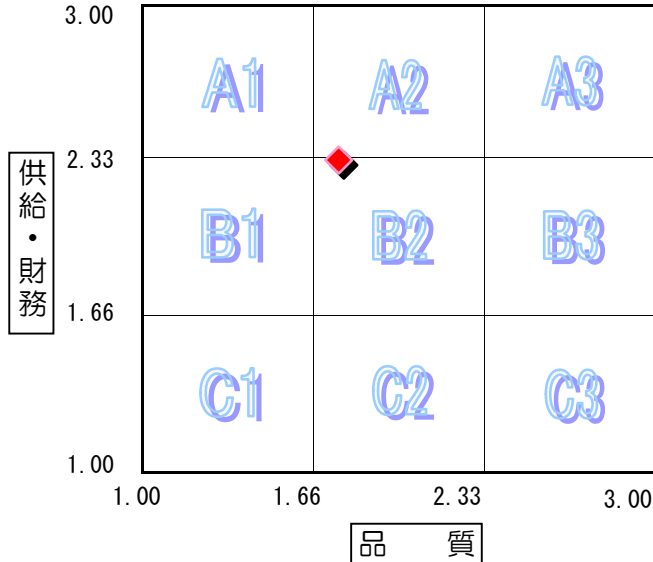
基本情報	施設番号	807081012001	施設名称	浜松工業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松工業高校		
	用途	教育施設		設置年	1965	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	80,917.72 m ²	延床面積	23,161.04 m ²		
	土地台帳価格	5,251,098 千円	建物台帳価格	180,271 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:さぎの宮駅から 徒歩50分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.81点 供給・財務 2.33点

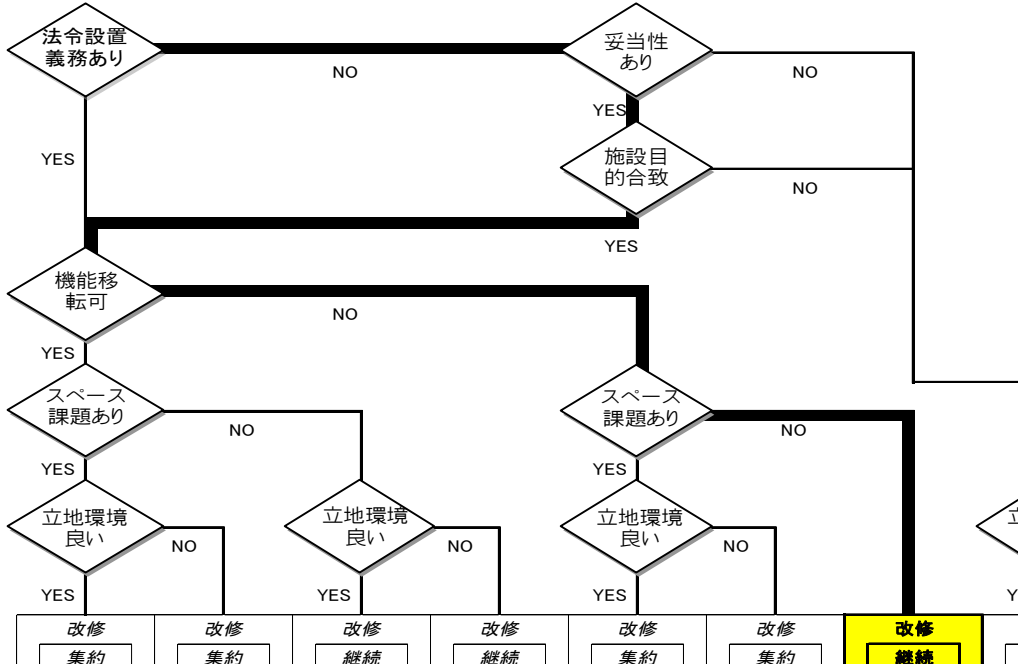
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	49.0年	1.11点
品質	建築劣化度	屋上防水	1993.6年 1.79点
		外壁	2005.8年 2.46点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1980.0年 1.36点
		受変電設備	2008.0年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.24)	3.00点
供給	面積/人数	19.91m ² (48.92)	3.00点
供給	生徒充足率	100.26%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	296,215円 (46.85)	2.00点
	コスト/面積	1,599円 (42.25)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	767	百万円	維持管理費 B(※2)	277	百万円
	使用年数 A(※1)	49.0	年	小計	1,044	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	745	百万円	維持管理費 (※3)	56	百万円
	大規模改修費	334	百万円	建替え経費	6,297	百万円
	解体費	431	百万円	小計	7,863	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	745	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	5,011	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	8,342	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年10クラスの大規模工業高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	構造部材、耐震ブレースに発錆が生じており、内壁はクラックや雨漏りが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **継続**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めつつ、速やかに建替えも含めた改修を検討していく必要がある施設

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807082012001	施設名称	浜松城北工業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松城北工業高校		
	用途	教育施設		設置年	1964	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	55,254.91 m ²	延床面積	16,840.96 m ²		
	土地台帳価格	2,919,790 千円	建物台帳価格	266,731 千円		
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.81点 供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	42.3年	1.42点
品質	建築劣化度	屋上防水	2005.2年 2.61点
		外壁	2002.5年 2.41点
品質	設備劣化度	空気調和設備	2000.0年 0.23点
		受変電設備	1999.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.25GJ (59.14)	3.00点
供給	面積/人数	17.63m ² (47.39)	3.00点
供給	生徒充足率	99.48%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	316,092円 (47.21)	2.00点
財務	コスト/面積	1,839円 (42.59)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	652	百万円	維持管理費 B(※2)	75	百万円
	使用年数 A(※1)	42.3	年	小計	727	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	542	百万円	維持管理費 (※3)	18	百万円
	大規模改修費	640	百万円	建替え経費	3,032	百万円
	解体費	207	百万円	小計	4,439	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	542	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,644	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	6,066	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模工業高校である。 浜松特別支援学校城北分校が併設されている。
これまでの保全の状況	実習棟の外壁にクラックが生じており、鉄骨部には発錆が生じている。内部には雨漏り跡が見受けられる。
その他	

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。
----	---

施設アセスメントシート

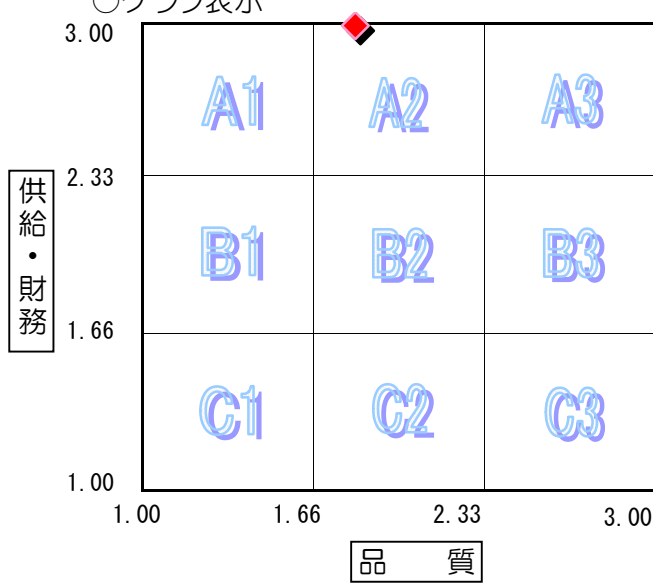
基本情報	施設番号	807082013002	施設名称	浜松城北工業高等学校公舎		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松城北工業高校		
	用途	職員住宅	設置年	1979		
	施設目的	教職員住宅				内部 
	敷地面積	433.98 m ²	延床面積	230.87 m ²		
	土地台帳価格	33,051 千円	建物台帳価格	12,113 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス20分 徒歩5分				

◆ 第1段階 A2 品質 1.88点 供給・財務 3.00点

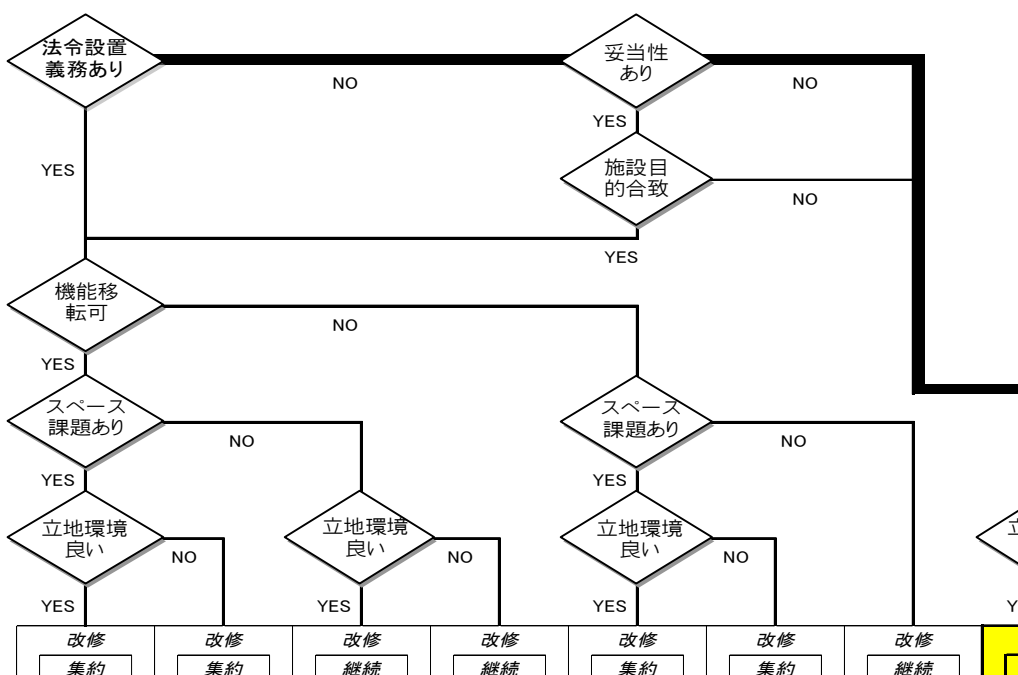
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	37.0年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水	1979.0年 1.00点
		外壁	1979.0年 1.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	- -
		受変電設備	1999.0年 2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	入居率・入所率	100.0%	3.00点
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 売却 運用面: 廃止



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	NO
設置目的適合	-
機能移転可	-
スペース課題あり	-
立地環境良	YES

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	29	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	37.0	年	小計	29	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	4	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	4	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	7	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	46	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	78	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県教職員住宅管理計画
現在の利用状況	教職員住宅として利用
これまでの保全の状況	
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無し
上を裏付ける根拠(ある場合)	

□総合評価



施設面: **売却**

運用面: **廃止**

補足

現行計画に沿って廃止・売却を進めていく施設。

施設アセスメントシート

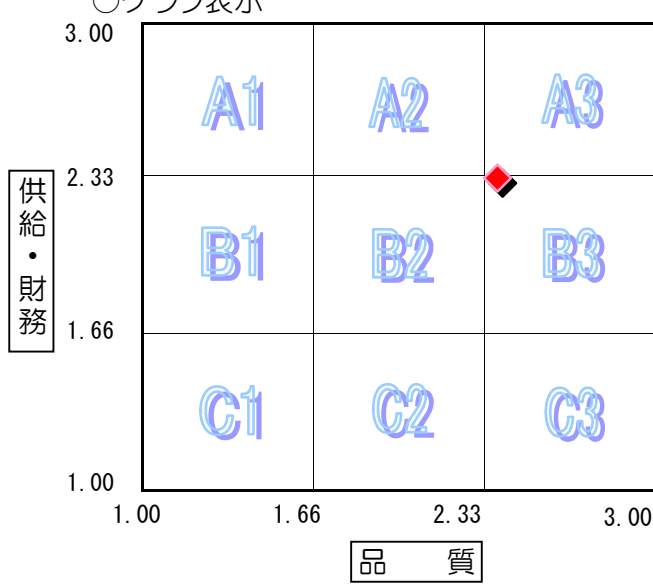
基本情報	施設番号	807083012001	施設名称	浜松商業高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松商業高校		
	用途	教育施設		設置年	1997	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	42,484.69 m ²	延床面積	16,382.87 m ²		
	土地台帳価格	1,685,129 千円	建物台帳価格	2,484,952 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:浜松駅から バス15分				

◆第1段階 A3 品質 2.47点 供給・財務 2.33点

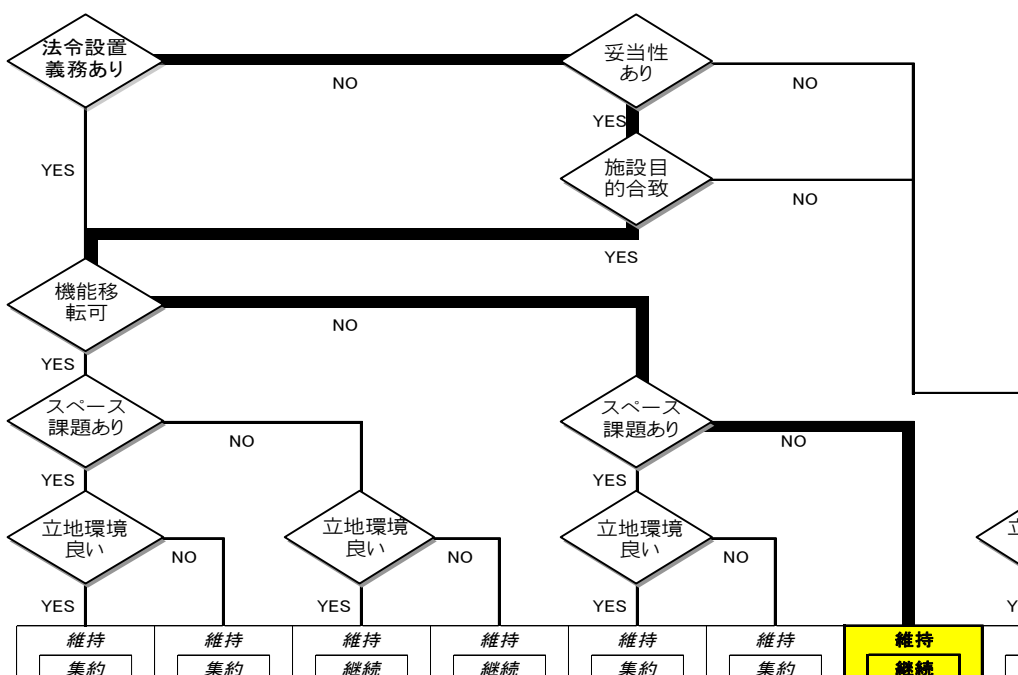
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	22.0年	2.44点
品質	建築劣化度	屋上防水	1996.5年 1.65点
		外壁	2014.0年 2.95点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1998.0年 1.85点
		受変電設備	2011.6年 2.87点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 2.87点
品質	エネルギー/面積	0.34GJ (56.38)	3.00点
供給	面積/人数	15.72m ² (46.10)	3.00点
供給	生徒充足率	100.19%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	444,001円 (49.54)	2.00点
財務	コスト/面積	2,331円 (43.30)	3.00点

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 維持 運用面: 継続



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,960	百万円	維持管理費 B(※2)	93	百万円
	使用年数 A(※1)	22.0	年	小計	4,053	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	527	百万円	維持管理費 (※3)	42	百万円
	大規模改修費	260	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	829	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	527	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,545	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	5,901	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年9クラスの大規模商業高校である。
これまでの保全の状況	校舎棟の外部は概ね良好な保全状態であるが、プール更衣室等の付属建物は、外壁割れや軒天の爆裂が見受けられ劣化が著しい。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **継続**

補足

施設の状態及び利用状況も良好であるため、引き続き適正に管理していく施設。

施設アセスメントシート

基本情報	施設番号	807084012001	施設名称	浜名高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜名高校		
	用途	教育施設		設置年	1996	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	37,198.60 m ²		延床面積	13,037.88 m ²	
	土地台帳価格	1,948,206 千円		建物台帳価格	1,191,420 千円	
	用途地域	第1種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 小林駅から 徒歩3分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.51点 供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	25.3年	2.62点
品質	建築劣化度	屋上防水 1994.6年	1.89点
		外壁 1997.3年	2.11点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1990.7年	1.78点
		受変電設備 2015.0年	3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.32GJ (56.96)	3.00点
供給	面積/人数	12.01m ² (43.61)	2.00点
供給	生徒充足率	100.56%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	262,313円 (46.23)	2.00点
財務	コスト/面積	1,891円 (42.67)	3.00点

○グラフ表示

◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善

評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,969	百万円	維持管理費 B(※2)	59	百万円
	使用年数 A(※1)	25.3	年	小計	2,028	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	419	百万円	維持管理費 (※3)	23	百万円
	大規模改修費	0	百万円	建替え経費	656	百万円
	解体費	45	百万円	小計	1,143	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	419	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,821	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,696	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年9クラスの大規模普通高校である。 定時制が設置されている。
これまでの保全の状況	建物外部は概ね良好な保全状態であるが、外部・内部共一部クラックが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

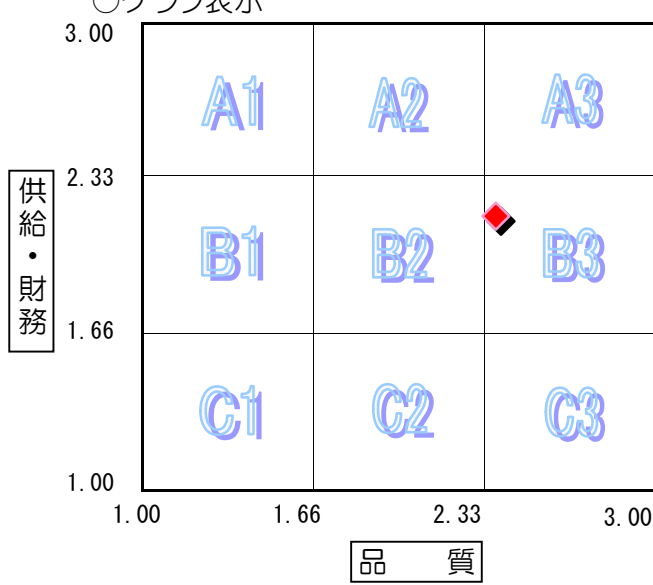
基本情報	施設番号	807085012001	施設名称	浜北西高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜北西高校		
	用途	教育施設		設置年	1979	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	48,567.41 m ²	延床面積	10,024.98 m ²		内部
	土地台帳価格	1,167,578 千円	建物台帳価格	437,177 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:遠鉄 浜北駅から タクシー10分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.47点 供給・財務 2.17点

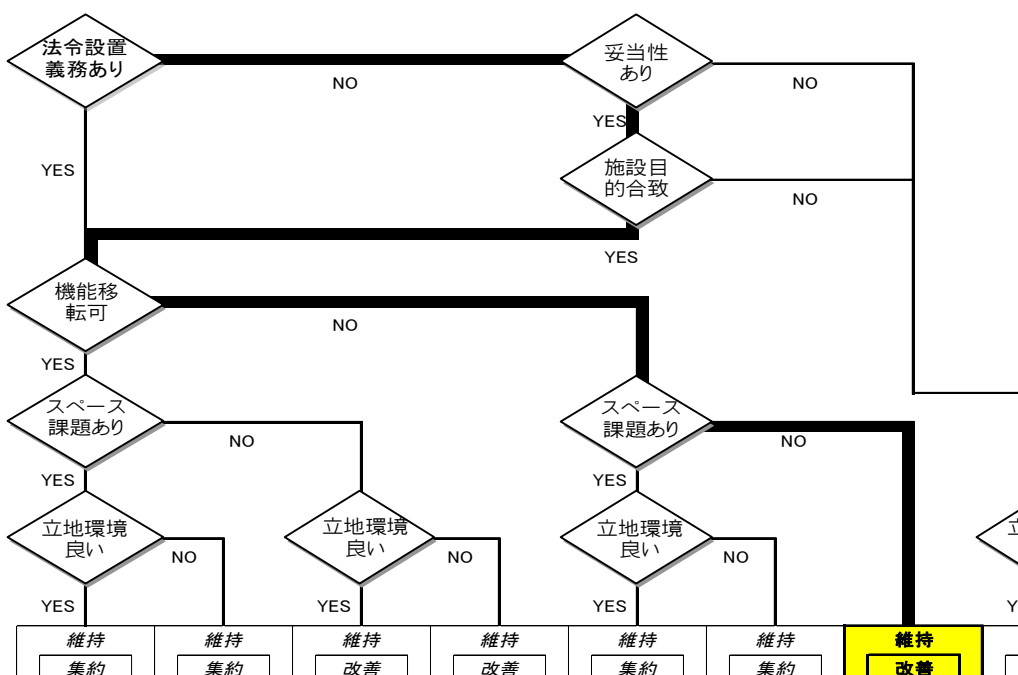
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	36.8年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 2009.4年	3.00点
		外壁 2007.6年	3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2002.2年	2.59点
		受変電設備 2004.6年	2.59点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.32GJ (57.09)	3.00点
供給	面積/人数	10.38m ² (42.52)	2.00点
供給	生徒充足率	100.63%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	2.00点
財務	コスト/人	285,461円 (46.65)	2.00点
財務	コスト/面積	2,335円 (43.30)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	538	百万円	維持管理費 B(※2)	94	百万円
	使用年数 A(※1)	36.8	年	小計	632	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	322	百万円	維持管理費 (※3)	25	百万円
	大規模改修費	1,847	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,195	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	322	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,169	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,611	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模普通高校である。
これまでの保全の状況	校舎及び体育館の外壁に塗装のふくれやクラックが見受けられる。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

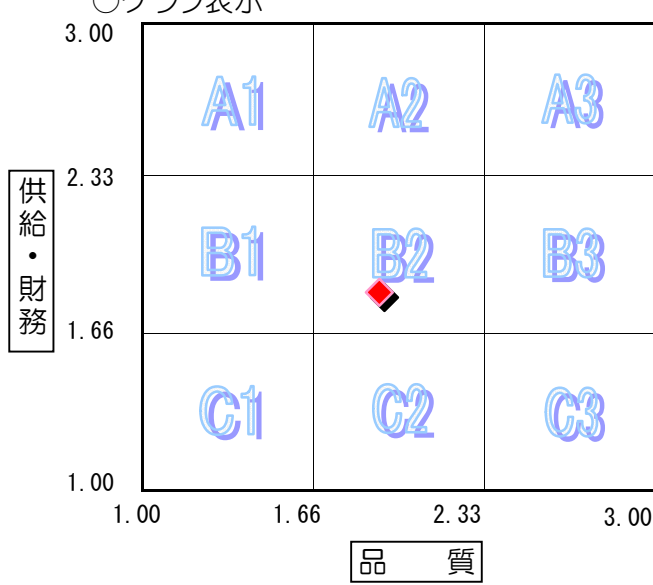
基本情報	施設番号	807086012001	施設名称	新居高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	新居高校		
	用途	教育施設		設置年	1971	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	33,017.63 m ²		延床面積	10,964.59 m ²	
	土地台帳価格	1,065,951 千円		建物台帳価格	119,973 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅:新居町駅から 徒歩5分				

◆ 第1段階 B2 品質 1.98点 供給・財務 1.83点

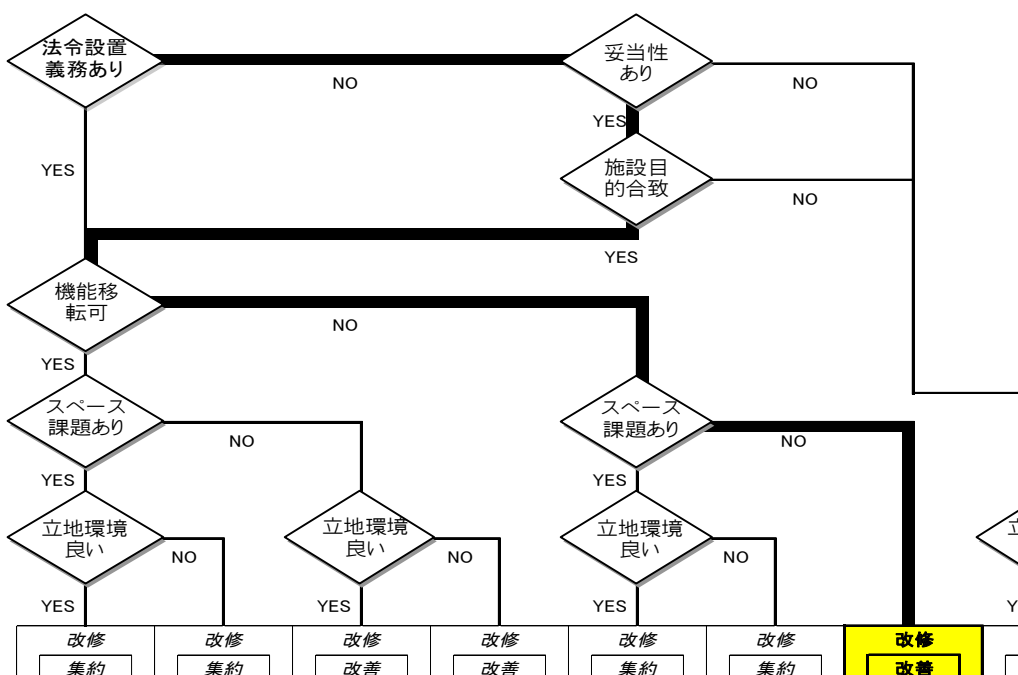
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	45.5年	1.19点
品質	建築劣化度	屋上防水	2004.9年 2.38点
		外壁	2009.1年 2.80点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1991.9年 2.10点
		受変電設備	2010.0年 3.00点
品質	津波性能	2.41点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.24GJ (59.48)	3.00点
供給	面積/人数	14.50m ² (45.29)	3.00点
供給	生徒充足率	85.91%	1.00点
供給	入学試験倍率	0.9倍	1.00点
財務	コスト/人	229,210円 (45.62)	2.00点
財務	コスト/面積	1,610円 (42.27)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	334	百万円	維持管理費 B(※2)	125	百万円
	使用年数 A(※1)	45.5	年	小計	459	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	353	百万円	維持管理費 (※3)	28	百万円
	大規模改修費	209	百万円	建替え経費	2,845	百万円
	解体費	195	百万円	小計	3,629	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	353	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,372	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,949	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を下回り、各学年6クラスの中規模普通高校である。 定時制が設置され、静岡中央高等学校も併設されている。
これまでの保全の状況	校舎棟の庇に爆裂が見受けられ、付属建物の鉄骨部は発錆が著しい。
その他	湖西地域の中核を担う学校であり、地域の中核校として現時点では集約の予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

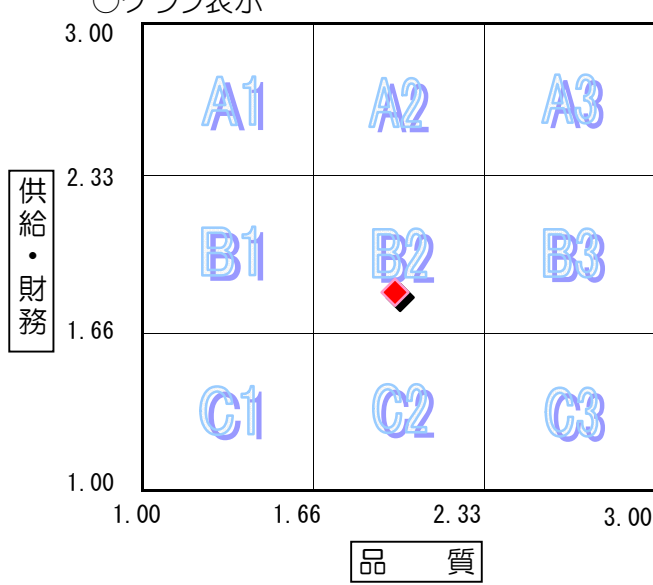
基本情報	施設番号	807087012001	施設名称	湖西高等学校		外部
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	湖西高校		
	用途	教育施設		設置年	1979	
	施設目的	高等学校				
	敷地面積	39,975.54 m ²		延床面積	10,391.09 m ²	
	土地台帳価格	1,455,338 千円		建物台帳価格	554,834 千円	
	用途地域	住居地域		路線価	- 円/m ²	
	交通アクセス	最寄り駅: JR鷺津駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.05点 供給・財務 1.83点

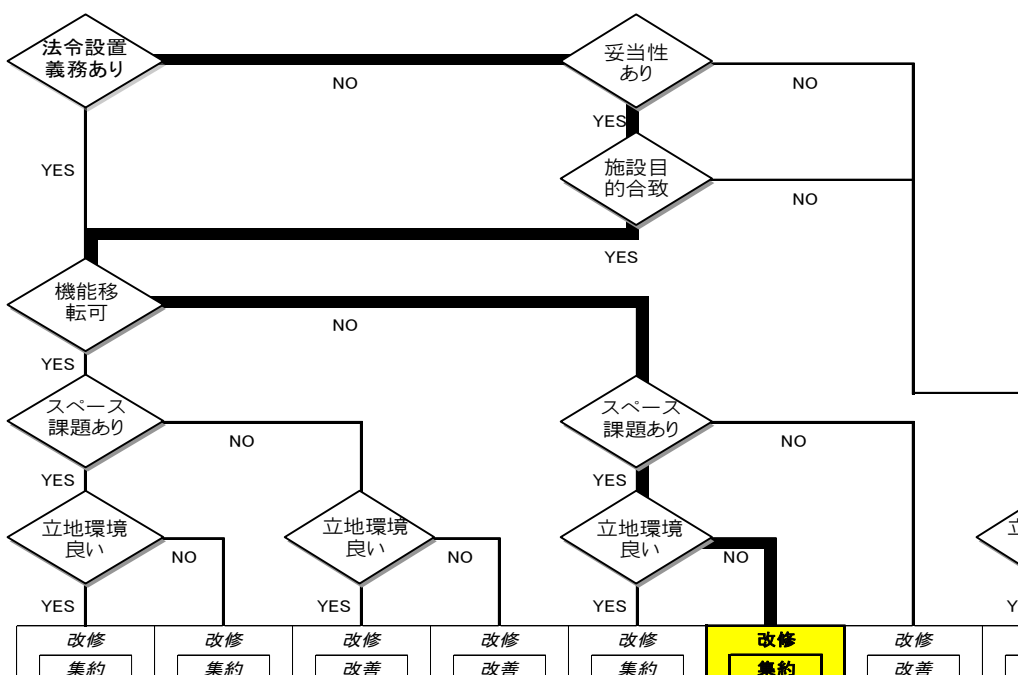
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	35.5年	2.07点
品質	建築劣化度	屋上防水 1993.0年	1.80点
		外壁 1980.5年	1.07点
品質	設備劣化度	空気調和設備 1999.8年	1.60点
		受変電設備 2014.0年	2.21点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.28GJ (58.08)	3.00点
供給	面積/人数	18.62m ² (48.05)	3.00点
供給	生徒充足率	93.00%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.0倍	1.00点
財務	コスト/人	514,574円 (50.83)	2.00点
財務	コスト/面積	2,823円 (44.00)	3.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良い	NO

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	787	百万円	維持管理費 B(※2)	77	百万円
	使用年数 A(※1)	35.5	年	小計	864	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	334	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	1,788	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,144	百万円

※3 $B \div A \times 10$ 年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	334	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,248	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	3,743	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年5クラスの中規模普通高校である。
これまでの保全の状況	校舎棟外部において、クラックが多数見受けられ、附属建物の鉄骨部には発錆が生じている。
その他	湖西地域の中核を担う学校であり、現時点では集約の予定なし。

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画


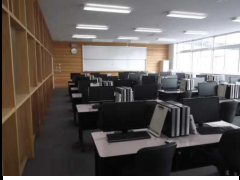
□総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設。
----	--

施設アセスメントシート

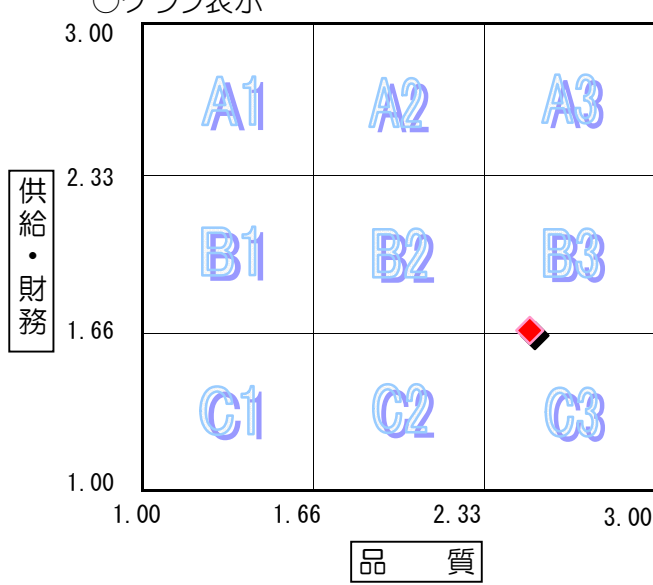
基本情報	施設番号	807088012001	施設名称	浜松湖北高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松湖北高校		
	用途	教育施設		設置年	2014	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	53,550.70 m ²	延床面積	17,471.50 m ²		
	土地台帳価格	1,032,375 千円	建物台帳価格	2,617,699 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:金指駅から 徒歩4分				

◆ 第1段階 B3 品質 2.61点 供給・財務 1.67点

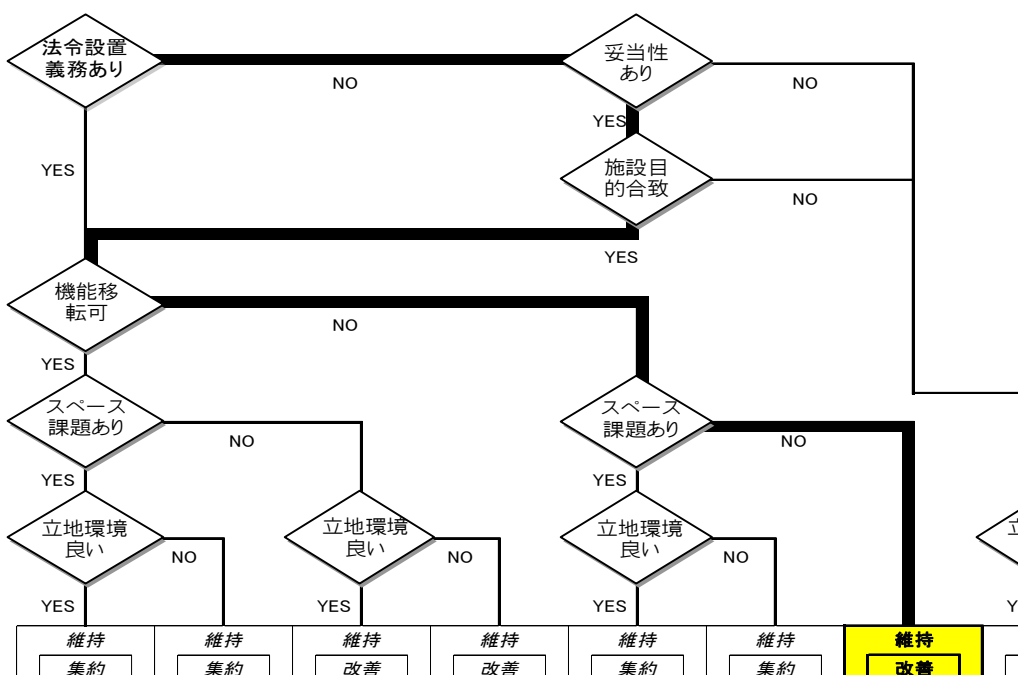
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	10.8年	2.74点
品質	建築劣化度	屋上防水 2010.7年	2.74点
		外壁 2010.7年	2.74点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2005.2年	2.42点
		受変電設備 2005.2年	2.42点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 0.94点
品質	エネルギー/面積	0.21GJ (60.28)	3.00点
供給	面積/人数	19.39m ² (48.56)	3.00点
供給	生徒充足率	93.85%	1.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	1,363,283円 (66.31)	1.00点
財務	コスト/面積	7,803円 (51.13)	2.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	3,158	百万円	維持管理費 B(※2)	24	百万円
	使用年数 A(※1)	10.8	年	小計	3,182	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	562	百万円	維持管理費 (※3)	22	百万円
	大規模改修費	744	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	1,329	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	562	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	3,780	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	6,293	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年8クラスの中規模の普通・農業・工業・商業を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建築後1年しか経過しておらず、概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

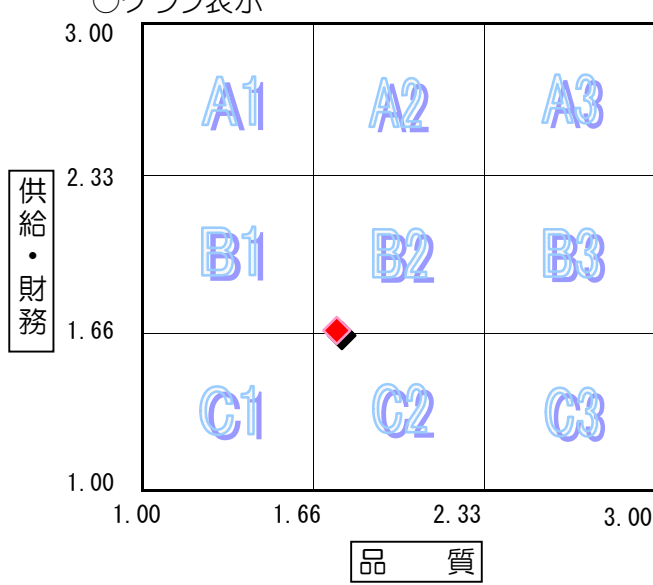
基本情報	施設番号	807088012006	施設名称	気賀高等学校跡地		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松湖北高校		
	用途	教育施設		設置年	1979	
	施設目的	高等学校(跡地)				内部 
	敷地面積	32,622.64 m ²	延床面積	11,548.66 m ²		
	土地台帳価格	646,907 千円	建物台帳価格	299,944 千円		
	用途地域	第2種住居専用地域	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:岡地駅から 徒歩2分				

◆第1段階 B2 品質 1.80点 供給・財務 1.67点

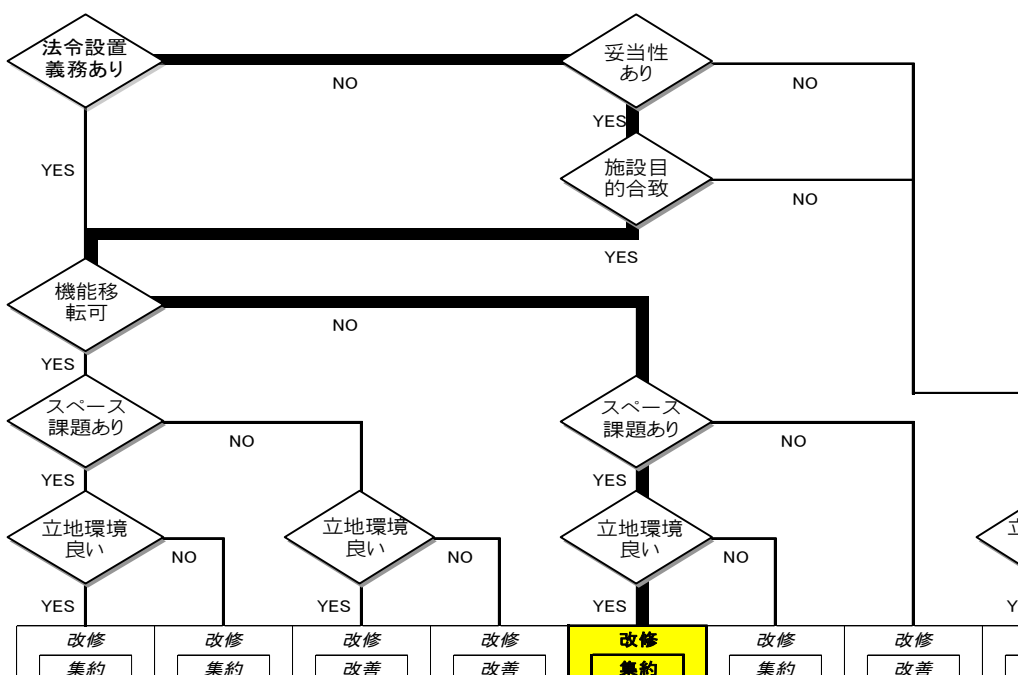
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	42.6年	1.59点
品質	建築劣化度	屋上防水	2005.2年 2.48点
		外壁	2002.0年 2.43点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1994.5年 1.35点
		受変電設備	1986.4年 1.35点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 -
品質	エネルギー/面積	-	-
供給	面積/人数	-	-
供給	生徒充足率	-	1.00点
供給	入学試験倍率	-	3.00点
財務	コスト/人	-	-
財務	コスト/面積	-	-

○グラフ表示



◆第2段階 施設面: 改修 運用面: 集約



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	YES
立地環境良	YES

◆第3段階

コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	500	百万円	維持管理費 B(※2)	0	百万円
	使用年数 A(※1)	42.6	年	小計	500	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	371	百万円	維持管理費 (※3)	0	百万円
	大規模改修費	1,248	百万円	建替え経費	1,465	百万円
	解体費	100	百万円	小計	3,185	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	371	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,499	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,159	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	—
現在の利用状況	浜松湖北高校がグラウンドを使用。
これまでの保全の状況	
その他	特別支援学校施設整備計画の見直しの中で活用を検討中。

財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	



総合評価

施設面: **改修**

運用面: **集約**

補足	施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、スペースの活用に課題があるため、他の機能を取り込む等、集約を図る必要がある施設
----	---

施設アセスメントシート

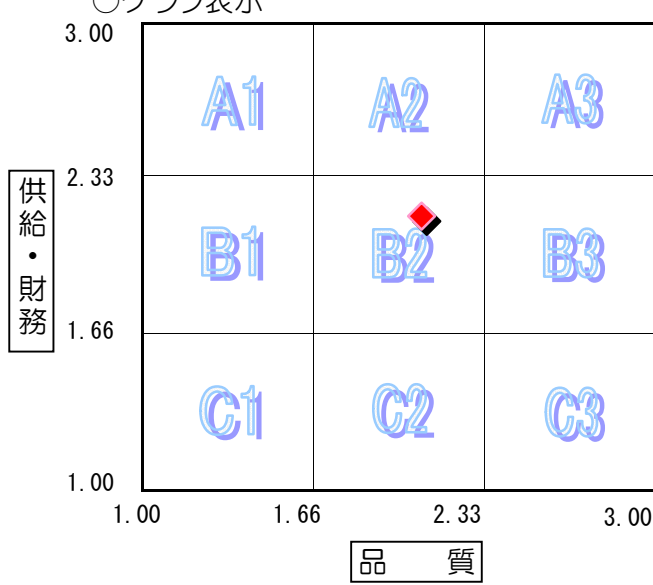
基本情報	施設番号	807094012001	施設名称	浜松湖南高等学校		外部 
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	浜松湖南高校		
	用途	教育施設		設置年	1983	
	施設目的	高等学校				内部 
	敷地面積	40,006.41 m ²	延床面積	11,456.27 m ²		
	土地台帳価格	604,497 千円	建物台帳価格	614,646 千円		
	用途地域	指定なし	路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅:舞阪駅から 徒歩10分				

◆ 第1段階 B2 品質 2.16点 供給・財務 2.17点

○主な内訳 (括弧内は偏差値)

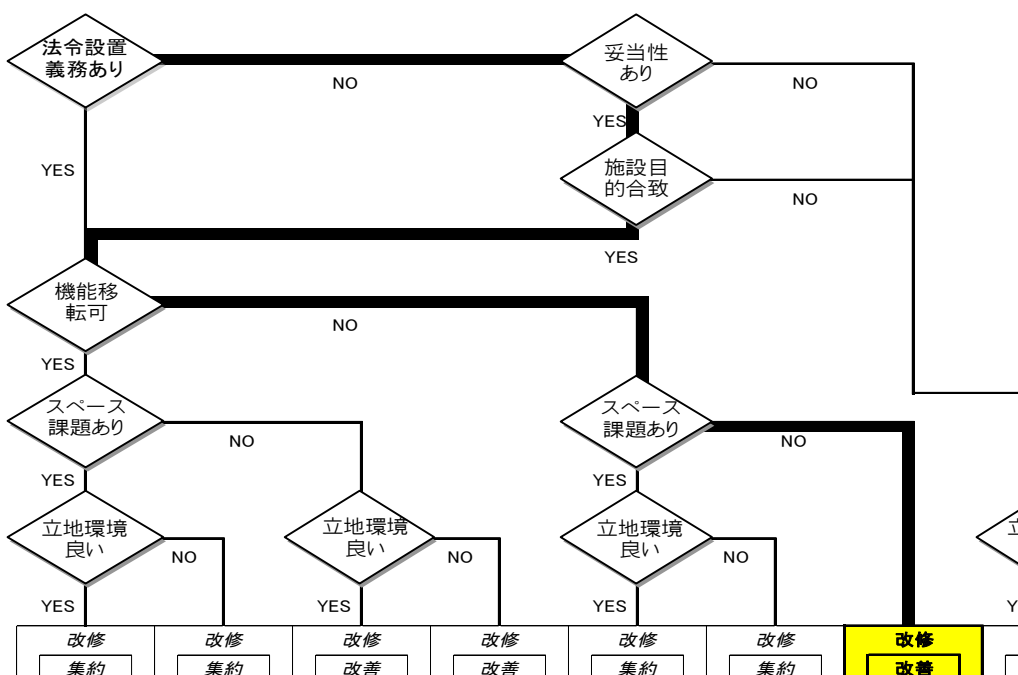
品質	建築後経過年数	32.6年	2.00点
品質	建築劣化度	屋上防水 1996.9年	2.05点
		外壁 1995.2年	2.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備 2000.9年	2.05点
		受変電設備 2001.0年	2.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.26GJ (58.86)	3.00点
供給	面積/人数	10.08m ² (42.32)	2.00点
供給	生徒充足率	101.43%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.1倍	2.00点
財務	コスト/人	216,766円 (45.40)	2.00点
財務	コスト/面積	1,476円 (42.07)	3.00点

○グラフ表示



品質

◆ 第2段階 施設面: 改修 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良い	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,017	百万円	維持管理費 B(※2)	88	百万円
	使用年数 A(※1)	32.6	年	小計	1,105	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	369	百万円	維持管理費 (※3)	27	百万円
	大規模改修費	2,110	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,506	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	369	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,479	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,126	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年9クラスの大規模の普通・英語を併設する高校である。
これまでの保全の状況	建物外部は概ね良好な保全状態である。
その他	

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価



施設面: **改修**

運用面: **改善**

補足

施設の不具合箇所の解消に努めるとともに、コスト面の改善等を図る必要がある施設。

施設アセスメントシート

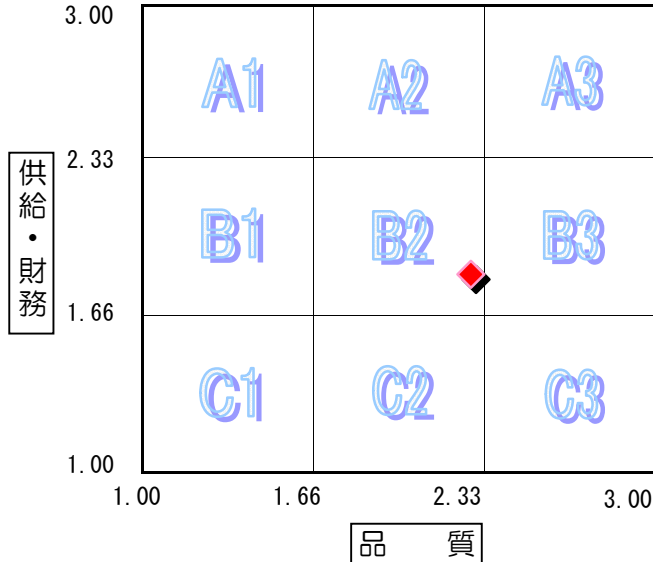
基本情報	施設番号	807095012001	施設名称	清流館高等学校		外部	
	財産管理者	教育委員会	財産事務取扱者	清流館高校			
	用途	教育施設		設置年	1984		
	施設目的	高等学校					
	敷地面積	39,954.80 m ²		延床面積	12,199.36 m ²		内部
	土地台帳価格	1,314,113 千円		建物台帳価格	788,932 千円		
	用途地域	指定なし		路線価	- 円/m ²		
	交通アクセス	最寄り駅: 藤枝駅から バス9分 徒歩3分					

◆ 第1段階 B3 品質 2.36点 供給・財務 1.83点

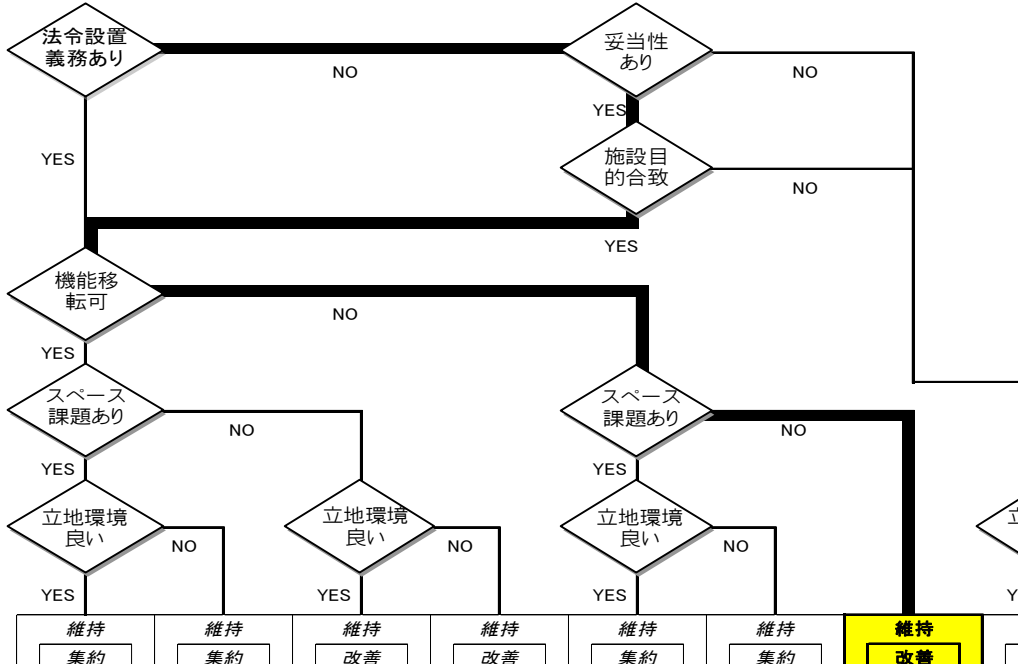
○主な内訳 (括弧内は偏差値)

品質	建築後経過年数	31.2年	2.02点
品質	建築劣化度	屋上防水	2014.0年 3.00点
		外壁	2014.0年 3.00点
品質	設備劣化度	空気調和設備	1984.8年 1.04点
		受変電設備	2011.1年 3.00点
品質	津波性能	3.00点	耐震性能 3.00点
品質	エネルギー/面積	0.22GJ (59.84)	3.00点
供給	面積/人数	14.49m ² (45.28)	3.00点
供給	生徒充足率	100.24%	3.00点
供給	入学試験倍率	1.2倍	2.00点
財務	コスト/人	2,454,192円 (86.21)	1.00点
財務	コスト/面積	16,697円 (63.87)	1.00点

○グラフ表示



◆ 第2段階 施設面: 維持 運用面: 改善



評価項目	判定
法令設置義務あり	NO
妥当性あり	YES
設置目的適合	YES
機能移転可	NO
スペース課題あり	NO
立地環境良	-

◆第3段階

□コスト推計

主な投資コスト (建設時から現在まで)	建設費	1,058	百万円	維持管理費 B(※2)	80	百万円
	使用年数 A(※1)	31.2	年	小計	1,138	百万円

※1 複数棟ある場合はその平均(面積加重)

※2 過去3カ年の実績から算出した1年平均の額 × 使用年数(A)

将来コスト試算 (今後10年間)	保全費	392	百万円	維持管理費 (※3)	26	百万円
	大規模改修費	2,199	百万円	建替え経費	0	百万円
	解体費	0	百万円	小計	2,618	百万円

※3 B ÷ A × 10年

パターン別コスト試算の比較 (維持管理費を除く)	計画保全パターン	392	百万円	今後10年間、計画保全で長寿命化を図っていく。
	大規模改修パターン	2,640	百万円	今後10年以内に大規模改修を実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。
	建替えパターン	4,394	百万円	今後10年以内に解体・建替えを実施し、計画保全で長寿命化を図っていく。

□施設の状況(特殊事情)

個別方針・計画、プロジェクトの有無	静岡県立高等学校第三次長期計画(高校教育課でH29度に策定予定) 静岡県教育施設長寿命化計画(財務課でH30度に策定予定)
現在の利用状況	募集倍率は1倍を上回り、各学年7クラスの中規模の普通高校(福祉科)である。
これまでの保全の状況	建物等については、概ね良好な保全状態であるが、建物周辺において、地盤沈下等の影響により、傾斜・不陸・排水不良の状況が発生している。
その他	平成25年度に大規模改修済み

□財産管理担当の考え方

廃止・継続の理由	評価変更希望無
上を裏付ける根拠(ある場合)	静岡県立高等学校第二次長期計画

□総合評価

施設面: **維持**

運用面: **改善**

補足

施設の状態は良好であるため引き続き適正に管理していくが、コスト面等の改善を図る必要がある施設。